

名張市転入出者アンケート  
調査結果報告書

平成28年1月  
名張市

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	2
III	転入者の調査結果	
1	調査対象の属性	5
	(1)性別	
	(2)年齢	
	(3)職業	
	(4)転入前後の家族構成	
	(5)同居している子どもの属性	
2	転入前後の居住状況	8
	(1)転入前の居住地域	
	(2)転入後の居住地域	
3	転入後の通勤・通学先	9
4	転入前後の居住形態	10
5	転入のきっかけ	11
6	名張市での居住経験等	13
	(1)居住経験	
	(2)当時、転出されることになった「きっかけ」	
7	転入にあたっての住まい探しの情報源	15
8	名張市での住みやすさ(満足度等)に関する評価	15
	(1)満足、不満足度	
	(2)「満足」「どちらかといえば満足」と回答した理由	
	(3)「不満足」「どちらかといえば不満足」と回答した理由	
9	転居先の検討状況	19
IV	転出者の調査結果	
1	調査対象の属性	20
	(1)性別	
	(2)年齢	
	(3)職業	
	(4)転出前後の家族構成	
	(5)同居している子どもの属性	
2	転出前後の居住状況	23
	(1)転出前の居住地域	
	(2)転出後の居住地域	
3	転出後の通勤・通学先	24
4	転出前後の居住形態	25
5	転出のきっかけ	26
6	名張市での居住年数	29
7	転出にあたっての住まい探しの情報源	29
8	名張市での住みやすさ(満足度等)に関する評価	29
	(1)満足、不満足度	
	(2)「満足」「どちらかといえば満足」と回答した理由	
	(3)「不満足」「どちらかといえば不満足」と回答した理由	
9	名張市での再居住の意向	33

V 名張市に対する意見、提案等（自由記載）	34
-----------------------	----

○調査票

・ 転入者向け	38
・ 転出者向け	44

※報告書の見方

・ 各設問に付記している「N」（Number of caseの略）は、回答者数を示し、比率算出の基数である。このため、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。

・ 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。

・ 調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、すべての比率を合計しても必ずしも100.0%に満たない、または上回る場合がある。（例えば99.9%、100.1%）

・ クロス集計の図表は、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

## I 調査の概要

### 1. 調査目的

本市の人口は、昭和30年代後半からの大規模な住宅地開発に伴い、大幅な増加を続けてきましたが、平成12年の約8万3千人をピークに減少に転じて以降、転出者が転入者を上回る転出超過の傾向が続いています。

そこで、転入者に対するアンケート調査を実施することにより、その原因や理由に関する客観的な情報・データ収集と現状分析を行い、今後の市政運営に役立てるとともに、本市への居住促進のための施策づくりの基礎資料として活用することを目的とします。

### 2. 調査方法

(1) 調査の対象 平成26年7月1日から平成27年6月30日における転入出世帯

(2) 標本数 転入者 1,000世帯 転出者1,000世帯  
(無作為抽出・外国人を除く18歳以上の世帯)

(3) 調査方法 郵送による(平成27年8月31日発送)

(4) 調査の期間 平成27年9月1日から9月24日

### 3. 回収状況

	発送数	回収数	回収率
転入者	1,000	412	41.2%
転出者	1,000	347	34.7%

### 4. 調査の項目

項目	転入者	転入者
性別	問1	問1
年齢	問2	問2
職業	問3	問3
家族構成	問4	問4
(子どもがいる場合の属性)	問4-1	問4-1
転居前後の居住地	問5	問5
名張市内での居住地域	問6	問6
転居後の通勤・通学地	問7	問7
転居前後の居住形態	問8	問8
転居のきっかけ	問9	問9
名張市での居住年数		問10
名張市での居住経験	問10	
(当時の転居のきっかけ)	問10-1	
転居の際の情報源	問11	問11
名張市の住みやすさ(満足度等)に関する評価	問12	問12
(満足、どちらかといえば満足の理由)	問12-1	問12-1
(不満足、どちらかといえば不満足の理由)	問12-2	問12-2
名張市に対する居留意向		問13
転居先の検討条件	問13	
自由意見、提案等	問14	問14

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 調査対象の属性について

- ・性別は、転入者では男性が6割と多く、転出者では同数となっている。
- ・年代は、転入者では20歳代と30歳代がほぼ同じ割合で最も多く、この二世帯を合わせると5割を占めている。転出者では、20歳代で4割と最も多く、30歳代を合わせると6割を占め、次いで70歳以上となっている。
- ・職業では、転入者、転出者とも「会社員・公務員」が5割と最も多くなっている。
- ・家族構成は、転入者では「二世帯同居(親と子ども)」が最も多く、次いで「一人世帯」「夫婦のみ」の順となっており、転入前後を比べると、転入後は「夫婦のみ」「二世帯同居(親と子ども)」「三世帯同居(親と子どもと孫)」の割合が増え、「一人世帯」が減っている。転出者においては、転出前は「二世帯同居(親と子ども)」が6割と最も多く、転出後は「一人世帯」「夫婦のみ」の割合が高くなっている。
- ・転入出地域では、転入前の居住地は、県内と「大阪府」や「奈良県」をはじめとする関西圏がそれぞれ4割となっており、転出後の居住地は、関西圏が5割を占め、県内が2割となっている。なお、県内だけの転入前の居住地を見ると、隣接の伊賀市、津市とで7割を占めている。
- ・転入者の通勤・通学地は、市内が5割と最も多く、次いで伊賀市内が2割、大阪府内が1割となっている。一方、転出後も市内へ通勤・通学する転出者は、1割にも満たない状況にある。
- ・転入出前後での居住状態は、転入者では「持ち家(戸建て)」が4割、「民間の借家(アパート・マンションなど)」が3割となっており、転入前と比べると、「持ち家(戸建て)」「民間の借家(戸建て)」「親(子)が所有又は賃貸している住宅」の割合が増えている。転出者では、転出前が「持ち家(戸建て)」と「親(子)が所有又は賃貸している住宅」とで9割を占めており、転出後は、「民間の借家(アパート・マンションなど)」が6割と多く、「持ち家(マンション)」「社宅」の割合も増えている。
- ・転居のきっかけは、男性では、転入者、転出者とも「あなたの仕事の都合」が5割と最も多く、女性では、転入者は「結婚のため」「親や子ども等との同居・近居など」「あなたの仕事の都合」の割合がほぼ同じとなっており、この3つのきっかけで8割を占め、転出者では「結婚のため」「あなたの仕事の都合」が同じ割合で高く、この2つで7割となっている。
- ・転入者においては、名張市での居住経験のない人が約6割を占めている。
- ・転出者においては、名張市での居住年数は「10年以上～20年未満」で3割、「20年以上」で6割となっている。

これらのことから、名張市においては、20～30歳代の会社員・団体職員等が仕事の都合で、大阪府や奈良県の関西圏をはじめ、県内に転入出しているケースが最も多く、次いで、結婚などを機に転入出していることがわかる。また、転入出者の2割を占める60歳代、70歳以上では、子ども等との同居・近居などが転入出のきっかけとなっている。

## 2. 名張市での居住に関する評価について

・居住満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した者が、転入者では約7割、転出者においては約8割と、転出者の方が満足度の割合が高くなっている。

○転入者、転出者の居住満足度の項目別比較。

### 【転入者】

項 目	満足(注1)		不満足(注2)		差
	比率	順位	比率	順位	
自然環境がよい(よくない)	51.8%	1	2.9%	12	48.9%
居住環境がよい(よくない)	35.2%	4	16.5%	9	18.7%
市内交通の便がよい(よくない)	14.0%	5	44.7%	2	△30.7%
大阪・名古屋へのアクセスがよい(よくない)	41.2%	3	31.1%	3	10.1%
地域活動が盛んである(盛んでない)	5.0%	9	8.7%	11	△3.7%
子育て環境がよい(よくない)	9.0%	6	18.4%	7	△9.4%
教育環境がよい(よくない)	1.3%	12	9.7%	10	△8.4%
福祉施設やサービスが整っている(不十分である)	6.3%	7	18.4%	7	△12.1%
医療施設やサービスが充実している(不十分である)	6.3%	7	31.1%	3	△24.8%
公共施設が充実している(不足している)	3.7%	10	19.4%	6	△15.7%
買い物などの日常生活が便利である(不便である)	42.9%	2	49.5%	1	△6.6%
その他	4.0%	11	30.1%	5	△26.1%
無回答	1.0%	13	1.0%	13	0.0%

※注1・・・満足、どちらかといえば満足

※注2・・・不満足、どちらかといえば不満足

### 【転出者】

項 目	満足(注1)		不満足(注2)		差
	比率	順位	比率	順位	
自然環境がよい(よくない)	74.1%	1	1.9%	12	72.2%
居住環境がよい(よくない)	54.1%	2	7.4%	10	46.7%
市内交通の便がよい(よくない)	11.4%	5	68.5%	1	△57.1%
大阪・名古屋へのアクセスがよい(よくない)	45.5%	3	27.8%	5	17.7%
地域活動が盛んである(盛んでない)	6.6%	9	16.7%	8	△10.1%
子育て環境がよい(よくない)	10.3%	6	3.7%	11	6.6%
教育環境がよい(よくない)	7.9%	7	13.0%	9	△5.1%
福祉施設やサービスが整っている(不十分である)	1.7%	12	29.6%	4	△27.9%
医療施設やサービスが充実している(不十分である)	6.9%	8	46.3%	3	△39.4%
公共施設が充実している(不足している)	3.1%	10	25.9%	6	△22.8%
買い物などの日常生活が便利である(不便である)	33.1%	4	48.1%	2	△15.0%
その他	2.4%	11	22.2%	7	△19.8%
無回答	1.4%	13	3.7%	11	△2.3%

※注1・・・満足、どちらかといえば満足

※注2・・・不満足、どちらかといえば不満足

・居住満足度の比率を項目別に見てみると、転入者では「自然環境がよい」「居住環境がよい」は、多くの人々が「満足」項目として選んでいて、「不満足」項目との差が大きい。一方、「不満足」項目として「市内交通の便がよくない」「医療施設やサービスが不十分である」の比率が高く、「満足」項目との差が大きい。なお、大阪・名古屋へのアクセスや買い物などの日常生活の利便性についての項目は、「満足」「不満足」項目とも、比率は高いが差は小さい。

転出者においても、ほぼ同様の結果であるが、「満足」項目として比率の高い「自然環境がよい」「居住環境がよい」、「不満足」項目として比率の高い「市内交通の便がよくない」「医療施設やサービスが不十分である」のそれぞれ「不満足」、「満足」との差は、転入者の差に比べ、より大きくなっている。

### 3 総括

転入出者の属性、転居理由、転入出先などから、名張市が人口急増期の典型的な関西圏のベッドタウンから変わりつつあり、転入者の就業形態も職住近接型に移行していることがうかがえる。

名張市に対する評価の部分では、「市内の交通の便がよくない」「医療施設やサービスが不十分である」といった項目に関して良くない結果となり、また、自由意見からも同様の意見が見られた。今後、高齢化が全国平均の倍の速度で進むことが見込まれる中、高齢者の移動手段の確保や更なる医療、介護、福祉サービスの充実が求められている。

子育ての環境については、転出者に比べ転入者において良くないとする比率が高いことから、転居後1年に満たない子育て世代の転入者に対し、子育て支援に関する情報提供や引き続きの名張版ネウボラの推進が必要と考えられる。

また、転入出者とも、買い物などの日常生活に関し、便利または不便と感じている比率がともに高く、住みやすさに関する評価において重視されていることがわかる。このことに関して自由意見も合わせて鑑みると、郊外型のスーパーが多いため、車等の移動手段のない方が買い物などに不自由を感じていると推測される。その他に、ショッピングモール等の滞在型大型商業施設を望む意見が多く見られた。

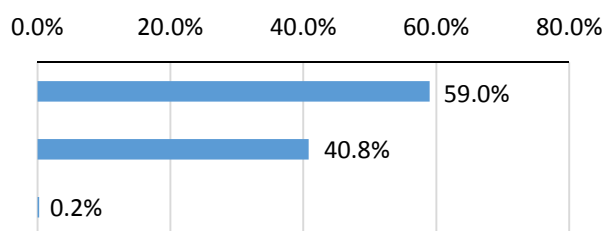
### Ⅲ 転入者の調査結果

#### 1 調査対象の属性

##### (1) 性別 (N=412) <問1>

「男性」が6割、「女性」が4割となっている。

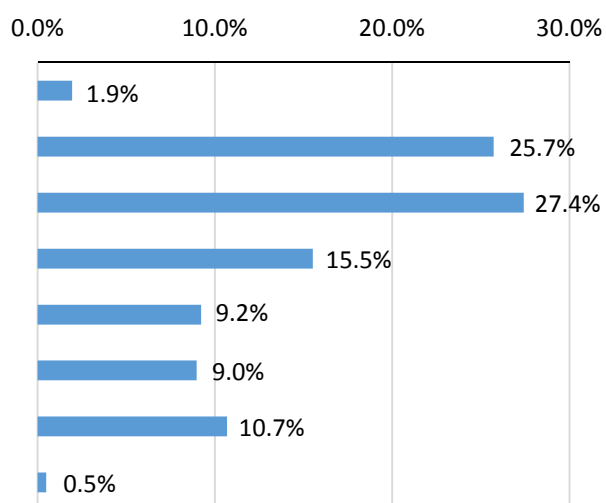
	基数	構成比
男性	243	59.0%
女性	168	40.8%
無回答	1	0.2%
合計	412	100.0%



##### (2) 年齢 (N=412) <問2>

「20歳代」と「30歳代」で5割を占めている。

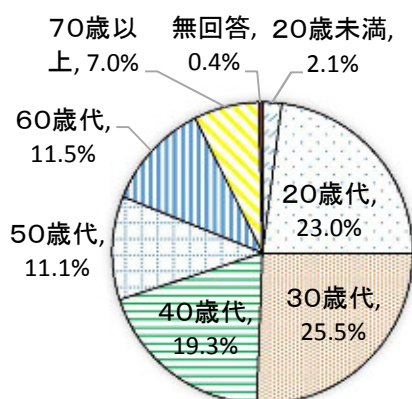
	基数	構成比
20歳未満	8	1.9%
20歳代	106	25.7%
30歳代	113	27.4%
40歳代	64	15.5%
50歳代	38	9.2%
60歳代	37	9.0%
70歳以上	44	10.7%
無回答	2	0.5%
合計	412	100.0%



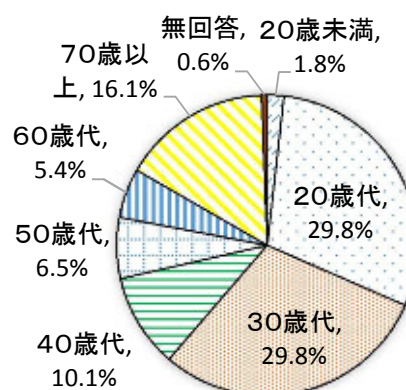
#### 性別・年齢

性別・年齢別でみると、男性・女性とも「20歳代」と「30歳代」が多く、「男性」では5割、「女性」で6割近くを占めている。次いで、男性では40歳代、女性では、70歳以上の割合が多くなっている。

##### 【男性】



##### 【女性】

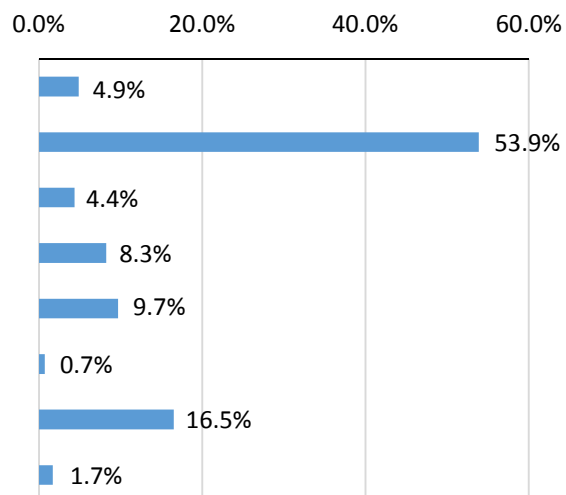




(3)職業 (N=412) <問3>

「会社員、団体職員等」が最も多く、5割を占めている。

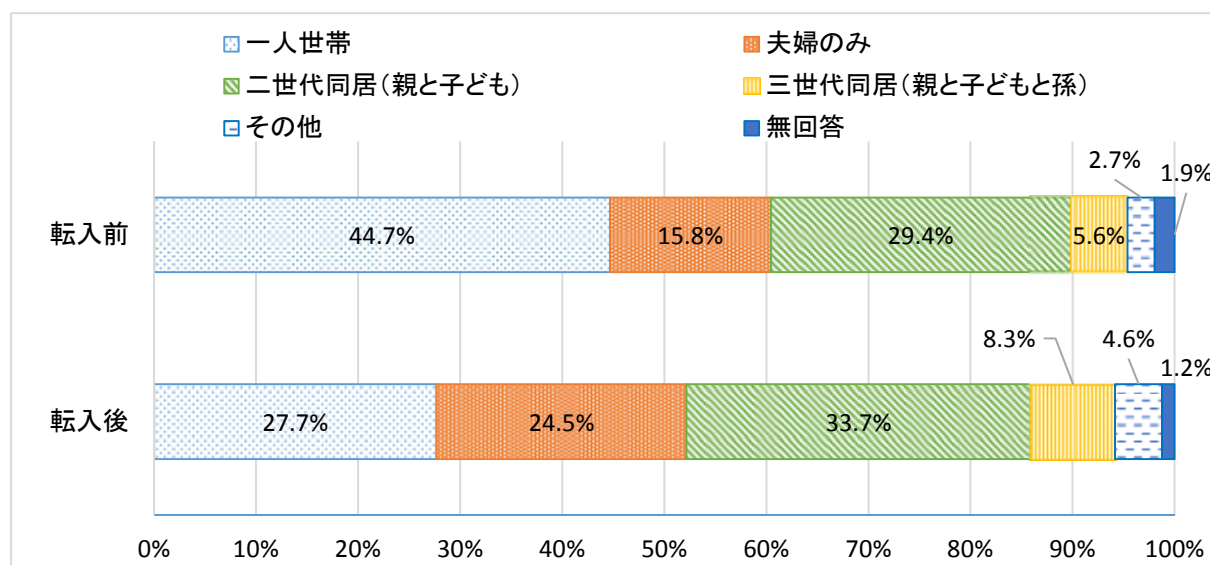
	基数	構成比
自営業	20	4.9%
会社員、団体職員等	222	53.9%
派遣社員、契約社員	18	4.4%
パート、アルバイト	34	8.3%
専業主婦、専業主夫	40	9.7%
学生	3	0.7%
無職	68	16.5%
その他	7	1.7%
合計	412	100.0%



(4)転入前後の家族構成 (N=412) <問4>

転入前は「一人世帯」が最も多く、転入後は「夫婦のみ」、「二世帯同居(親と子ども)」、「三世帯同居(親と子どもと孫)」の割合が増えている。

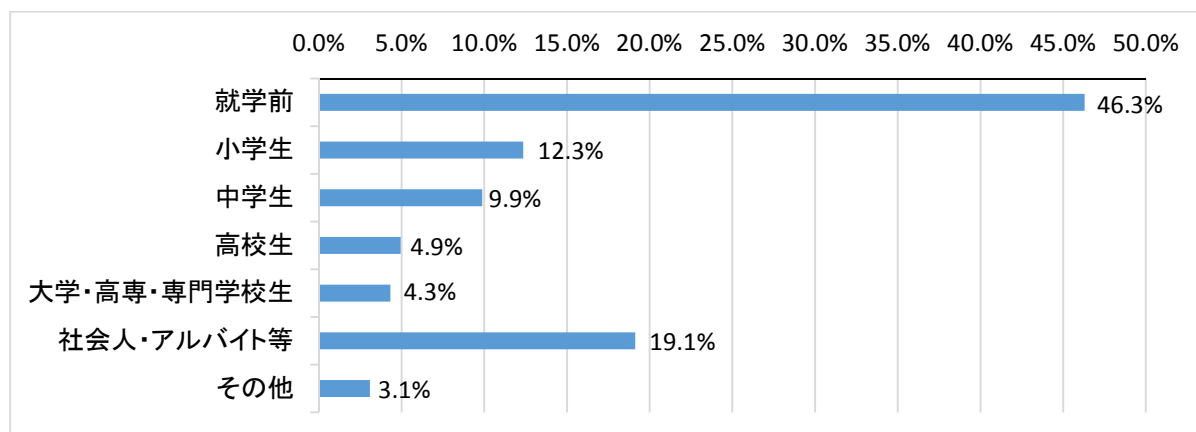
	転入前		転入後	
	基数	構成比	基数	構成比
一人世帯	184	44.7%	114	27.7%
夫婦のみ	65	15.8%	101	24.5%
二世帯同居(親と子ども)	121	29.4%	139	33.7%
三世帯同居(親と子どもと孫)	23	5.6%	34	8.3%
その他	11	2.7%	19	4.6%
無回答	8	1.9%	5	1.2%
合計	412	100.0%	412	100.0%



(5)同居している子どもの属性 (N=162) <問4-1>

「就学前」が最も多く、「社会人・アルバイト等」の順となっている。

	1人	2人	3人	4人	基数	構成比
就学前	47	25	3	0	75	46.3%
小学生	16	4	0	0	20	12.3%
中学生	15	1	0	0	16	9.9%
高校生	7	1	0	0	8	4.9%
大学・高専・専門学校生	7	0	0	0	7	4.3%
社会人・アルバイト等	17	9	4	1	31	19.1%
その他	3	1	1	0	5	3.1%
合計	112	41	8	1	162	100.0%



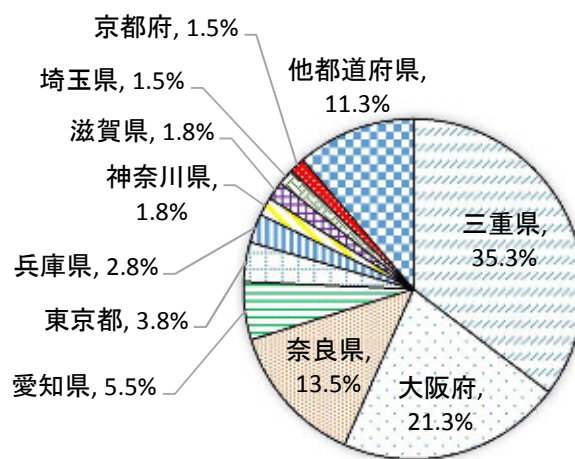
## 2 転入前後の居住状況

### (1) 転入前の居住地域 (N=412) <問5>

#### 【都道府県別(上位10位と他都道府県)(N=399)】

県内が4割と最も多く、県外からの転入先は、「大阪府」、「奈良県」をはじめ関西圏が約4割を占め、次いで「愛知県」、「東京都」の順となっている。

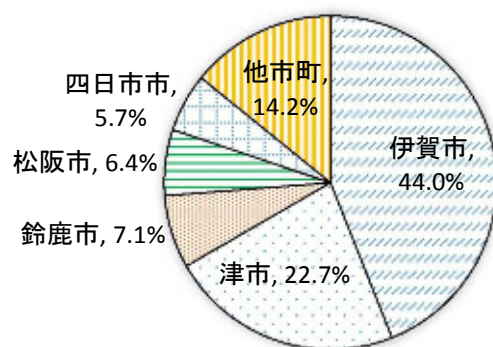
		基数	構成比
1	三重県	141	35.3%
2	大阪府	85	21.3%
3	奈良県	54	13.5%
4	愛知県	22	5.5%
5	東京都	15	3.8%
6	兵庫県	11	2.8%
7	神奈川県	7	1.8%
8	滋賀県	7	1.8%
9	埼玉県	6	1.5%
10	京都府	6	1.5%
	他都道府県	45	11.3%
	合計	399	100.0%



#### 【三重県内別(N=141)】

県内では、「伊賀市」からの転入が最も多く約半数、以下、「津市」、「松阪市」、「鈴鹿市」、「四日市市」となっている。

		基数	構成比
1	伊賀市	62	44.0%
2	津市	32	22.7%
3	鈴鹿市	10	7.1%
4	松阪市	9	6.4%
5	四日市市	8	5.7%
	他市町	20	14.2%
	合計	141	100.0%



#### 【隣接する奈良県内別(N=54)】

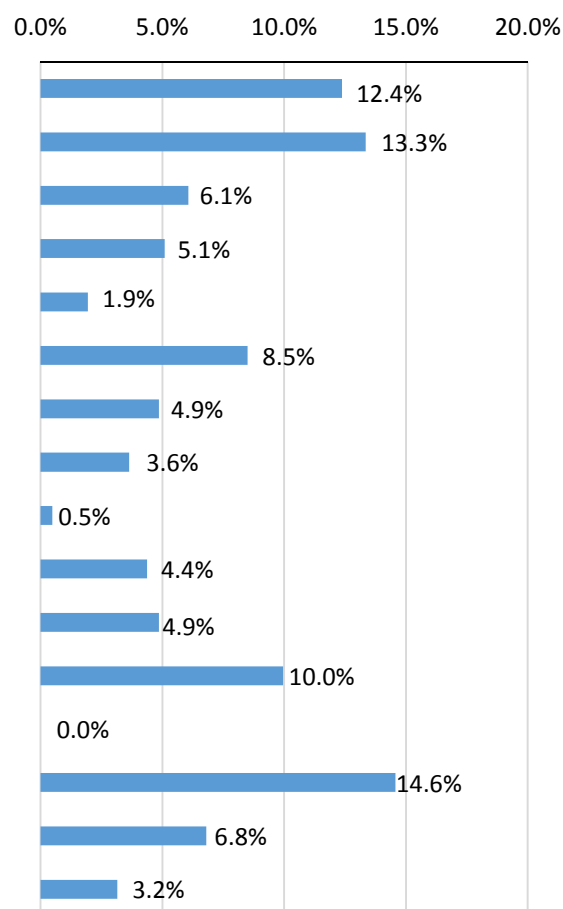
隣接する「宇陀市」、「山添村」、「奈良市」や近鉄大阪線沿線の「橿原市」、「香芝市」などからの転入が多くなっている。

	基数		基数	
1	橿原市	7	香芝市	4
2	宇陀市	5	桜井市	3
3	山添村	5	曾爾村	3
4	奈良市	4	上記以外	19
5	天理市	4	計	54

### (2) 転入後の居住地 (N=412) <問6>

地域づくり組織の単位では、「桔梗が丘地域」、「鴻之台希央台地域」、「名張地域」が多くなっている。

	基数	構成比
名張地域	51	12.4%
鴻之台希央台地域	55	13.3%
蔵持地域	25	6.1%
梅ヶ丘地域	21	5.1%
薦原地域	8	1.9%
美旗地域	35	8.5%
比奈知地域	20	4.9%
すずらん台地域	15	3.6%
錦生地域	2	0.5%
赤目地域	18	4.4%
箕曲地域	20	4.9%
百合が丘地域	41	10.0%
国津地域	0	0.0%
桔梗が丘地域	60	14.6%
つつじが丘地域	28	6.8%
無回答	13	3.2%
合計	412	100.0%

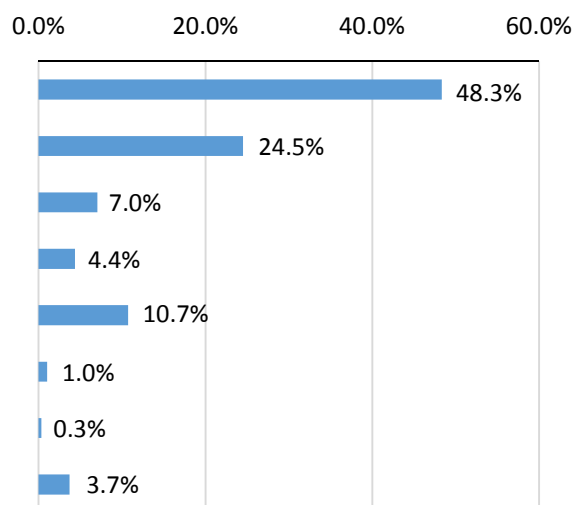


※地域分けは、地域づくり組織の単位で集計。

### 3 転入後の通勤・通学先 <問7>

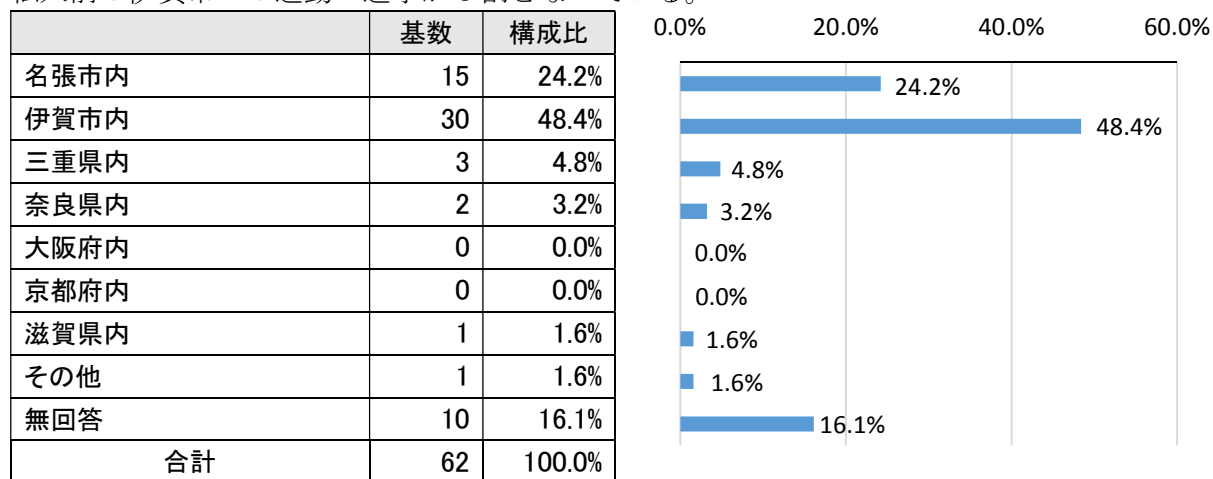
転入後は、「名張市内」が約半数、「伊賀市内」が3割となっている。

	基数	構成比
名張市内	144	48.3%
伊賀市内	73	24.5%
三重県内	21	7.0%
奈良県内	13	4.4%
大阪府内	32	10.7%
京都府内	3	1.0%
滋賀県内	1	0.3%
その他	11	3.7%
合計	298	100.0%



【隣接する伊賀市からの転入者の通勤・通学先(N=62)】

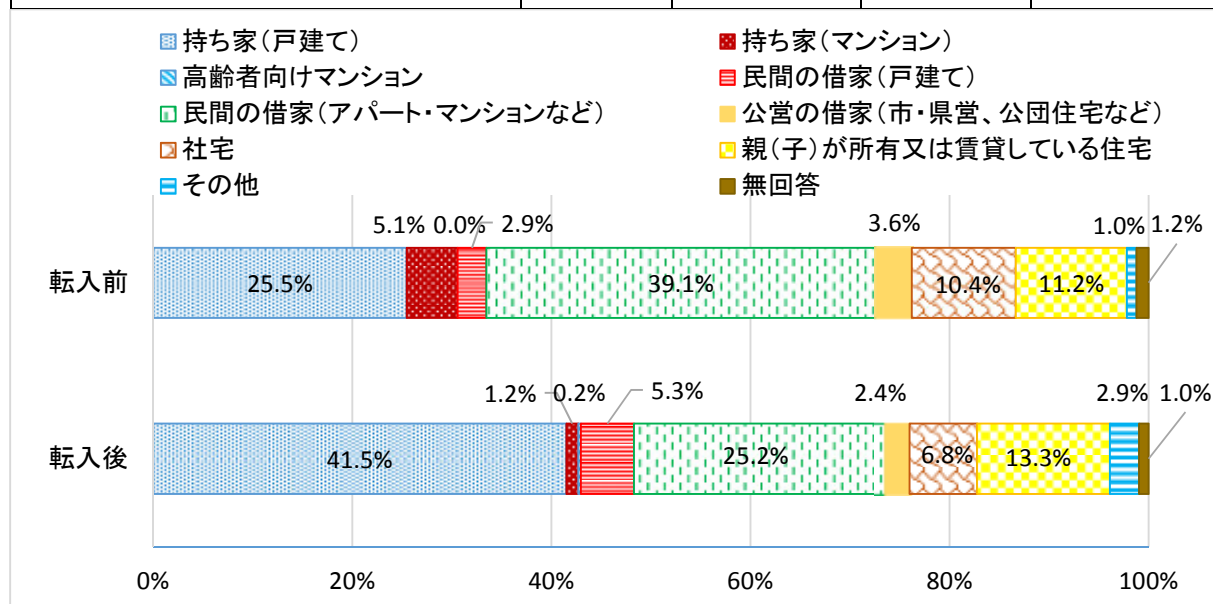
転入前の伊賀市への通勤・通学が5割となっている。



4 転入前後の居住形態 (N=412) <問8>

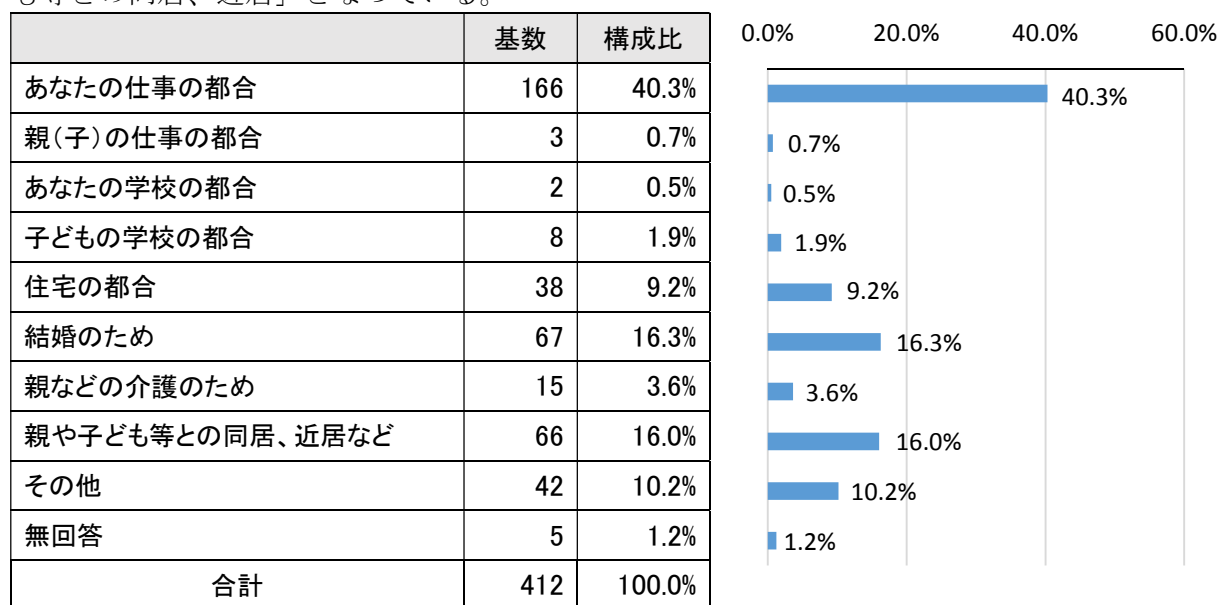
転入前後の居住形態を比べると、転入後、「持ち家(戸建て)」、「民間の借家(戸建て)」、「親(子)が所有又は賃貸している住宅」の割合が増えている。

	転入前		転入後	
	基数	構成比	基数	構成比
持ち家(戸建て)	105	25.5%	171	41.5%
持ち家(マンション)	21	5.1%	5	1.2%
高齢者向けマンション	0	0.0%	1	0.2%
民間の借家(戸建て)	12	2.9%	22	5.3%
民間の借家(アパート・マンションなど)	161	39.1%	104	25.2%
公営の借家(市・県営、公団住宅など)	15	3.6%	10	2.4%
社宅	43	10.4%	28	6.8%
親(子)が所有又は賃貸している住宅	46	11.2%	55	13.3%
その他	4	1.0%	12	2.9%
無回答	5	1.2%	4	1.0%
合計	412	100.0%	412	100.0%



### 5 転入のきっかけ (N=412) <問9>

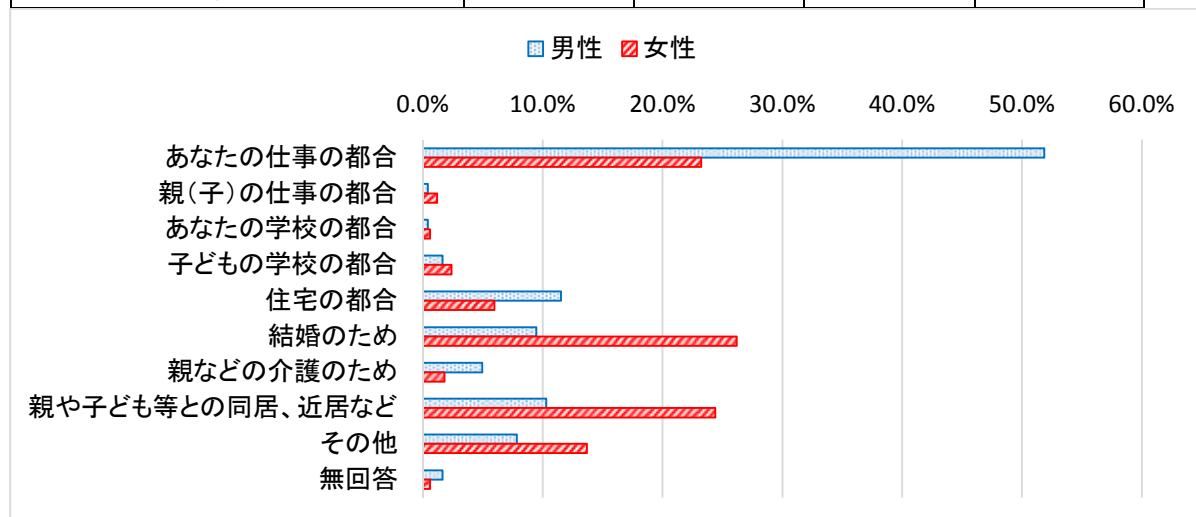
転入のきっかけは、「あなたの仕事の都合」が最も多く、以下、「結婚のため」、「親や子ども等との同居、近居」となっている。



#### 【男女別】

男性は、「あなたの仕事の都合」が5割と最も高く、女性は、「結婚のため」、「あなたの仕事の都合」の割合が高くなっている。

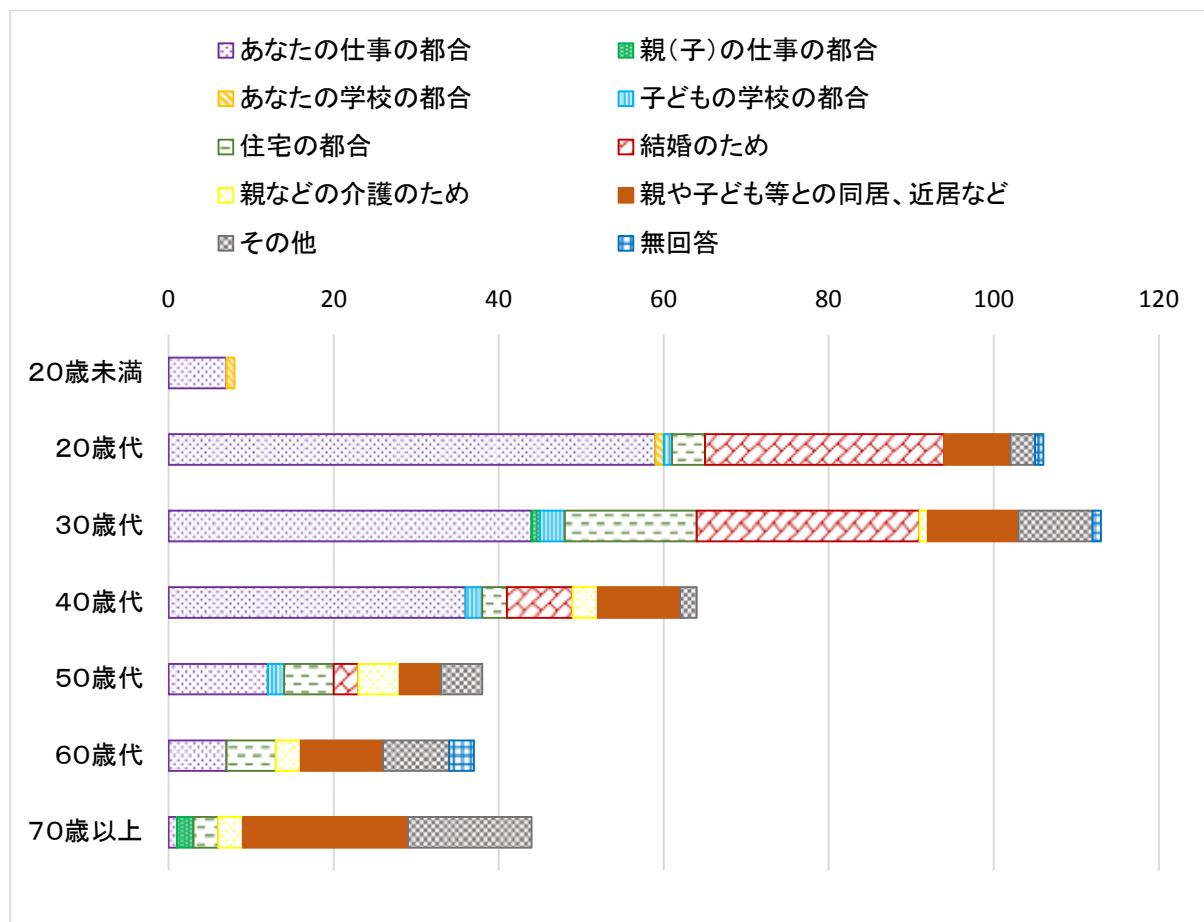
	男性		女性	
	基数	構成比	基数	構成比
あなたの仕事の都合	126	51.9%	39	23.2%
親(子)の仕事の都合	1	0.4%	2	1.2%
あなたの学校の都合	1	0.4%	1	0.6%
子どもの学校の都合	4	1.6%	4	2.4%
住宅の都合	28	11.5%	10	6.0%
結婚のため	23	9.5%	44	26.2%
親などの介護のため	12	4.9%	3	1.8%
親や子ども等との同居、近居など	25	10.3%	41	24.4%
その他	19	7.8%	23	13.7%
無回答	4	1.6%	1	0.6%
合計	243	100.0%	168	100.0%



【年齢別(人数)(N=410)】

年齢別の転入のきっかけは、「20歳代」、「30歳代」では、「あなたの仕事の都合」、「結婚のため」が大半のきっかけとなっており、「70歳以上」では、「親や子ども等との同居、近居など」が約半数となっている。

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計(人)
あなたの仕事の都合	7	59	44	36	12	7	1	166
親(子)の仕事の都合	0	0	1	0	0	0	2	3
あなたの学校の都合	1	1	0	0	0	0	0	2
子どもの学校の都合	0	1	3	2	2	0	0	8
住宅の都合	0	4	16	3	6	6	3	38
結婚のため	0	29	27	8	3	0	0	67
親などの介護のため	0	0	1	3	5	3	3	15
親や子ども等との同居、近居など	0	8	11	10	5	10	20	64
その他	0	3	9	2	5	8	15	42
無回答	0	1	1	0	0	3	0	5
合計(人)	8	106	113	64	38	37	44	410

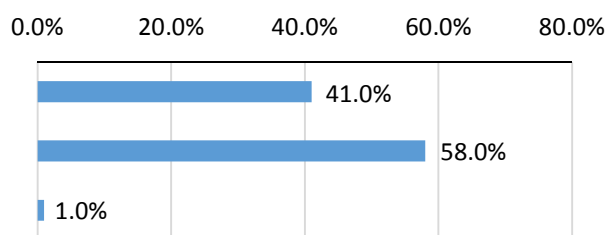


## 6 名張市での居住経験等

### (1) 居住経験 (N=412) <問10>

4割が居住経験者であった。

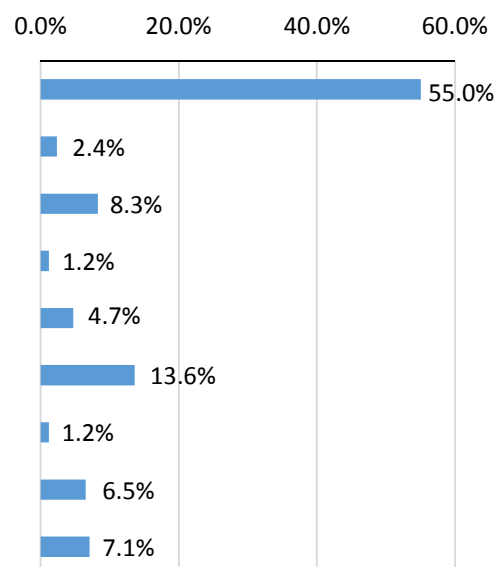
	基数	構成比
ある	169	41.0%
ない	239	58.0%
無回答	4	1.0%
合計	412	100.0%



### (2) 当時、転出されることになった「きっかけ」。(N=169) <問10-1>

転出のきっかけは、「あなたの仕事の都合」が6割と最も多く、以下、「結婚のため」、「あなたの学校の都合」となっている。

	基数	構成比
あなたの仕事の都合	93	55.0%
親(子)の仕事の都合	4	2.4%
あなたの学校の都合	14	8.3%
子どもの学校の都合	2	1.2%
住宅の都合	8	4.7%
結婚のため	23	13.6%
親などの介護のため	2	1.2%
親や子ども等との同居、近居など	11	6.5%
その他	12	7.1%
合計	169	100.0%

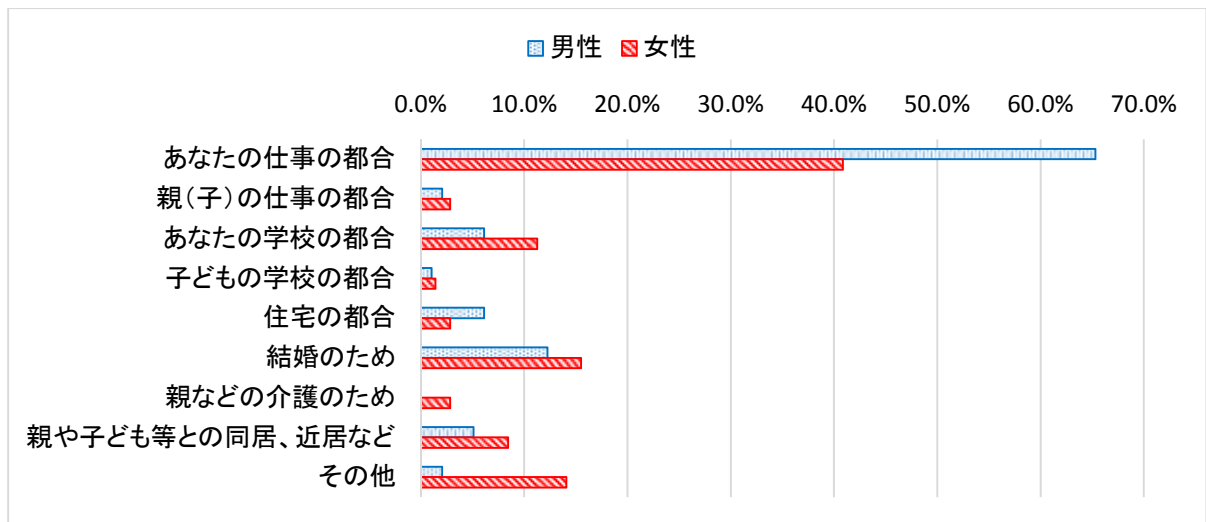


### 【男女別】

「あなたの仕事の都合」が最も多く、男性で7割、女性で4割となっている。

	男性		女性	
	基数	構成比	基数	構成比
あなたの仕事の都合	64	65.3%	29	40.8%
親(子)の仕事の都合	2	2.0%	2	2.8%
あなたの学校の都合	6	6.1%	8	11.3%
子どもの学校の都合	1	1.0%	1	1.4%
住宅の都合	6	6.1%	2	2.8%
結婚のため	12	12.2%	11	15.5%
親などの介護のため	0	0.0%	2	2.8%
親や子ども等との同居、近居など	5	5.1%	6	8.5%
その他	2	2.0%	10	14.1%
合計	98	100.0%	71	100.0%

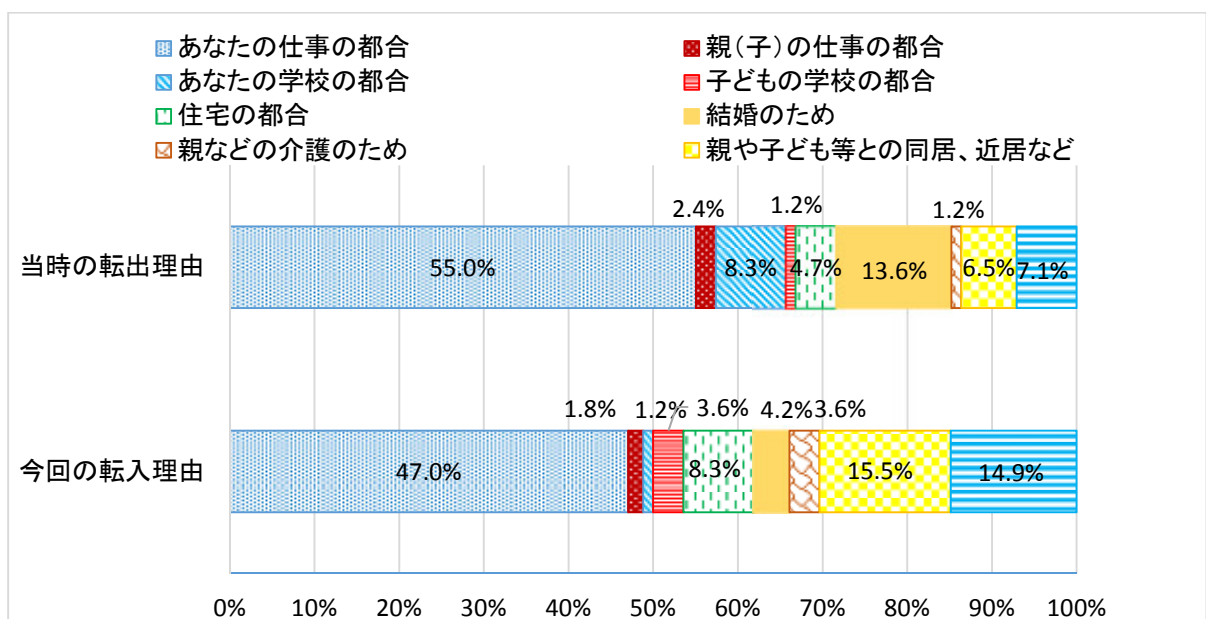




【居住経験がある人の当時の転出、今回の転入「きっかけ」】

当時の転出理由と比較すると、「親や子ども等との同居」、「住宅の都合」のきっかけで今回転入した割合が増えている。

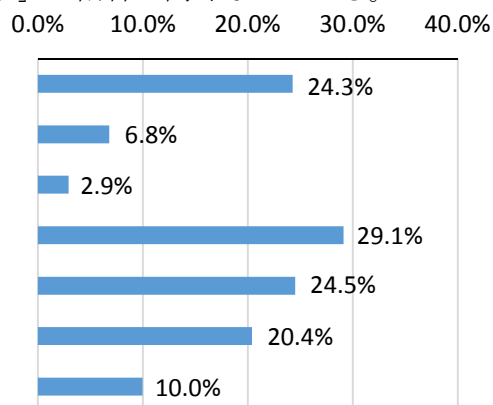
	今回の転入理由	当時の転出理由
あなたの仕事の都合	47.0%	55.0%
親(子)の仕事の都合	1.8%	2.4%
あなたの学校の都合	1.2%	8.3%
子どもの学校の都合	3.6%	1.2%
住宅の都合	8.3%	4.7%
結婚のため	4.2%	13.6%
親などの介護のため	3.6%	1.2%
親や子ども等との同居、近居など	15.5%	6.5%
その他	14.9%	7.1%
合計	100.0%	100.0%



### 7 転入にあたっての住まい探しの情報源【複数回答 N=486】 <問11>

「不動産業者」、「親族・知人」、「インターネット」の割合が高くなっている。

	基数	比率
インターネット	100	24.3%
住宅情報誌	28	6.8%
住宅展示場	12	2.9%
不動産業者	120	29.1%
親族・知人	101	24.5%
その他	84	20.4%
無回答	41	10.0%
合計	486	—

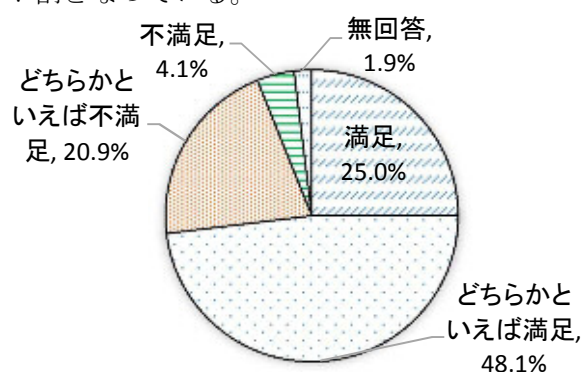


### 8 名張市での住みやすさ(満足度等)に関する評価

#### (1) 満足度、不満足度(N=412) <問12>

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は、7割となっている。

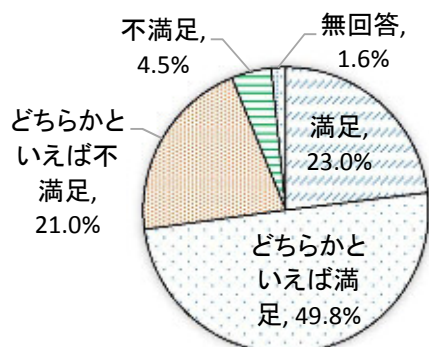
	基数	構成比
満足	103	25.0%
どちらかといえば満足	198	48.1%
どちらかといえば不満足	86	20.9%
不満足	17	4.1%
無回答	8	1.9%
合計	412	100.0%



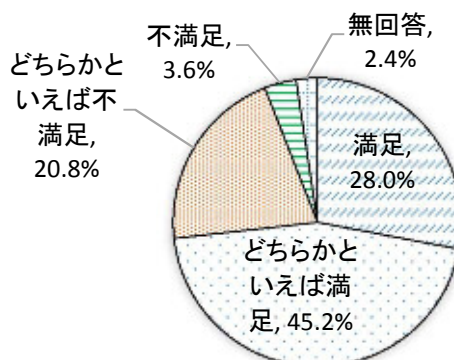
#### 【男女別】

	男性		女性	
	基数	構成比	基数	構成比
満足	56	23.0%	47	28.0%
どちらかといえば満足	121	49.8%	76	45.2%
どちらかといえば不満足	51	21.0%	35	20.8%
不満足	11	4.5%	6	3.6%
無回答	4	1.6%	4	2.4%
合計	243	100.0%	168	100.0%

#### <男性>



#### <女性>



## 【年齢別】

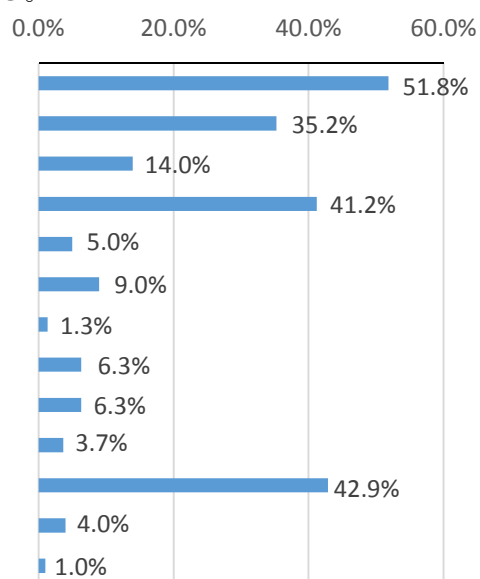
	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
満足	4	50.0%	33	31.1%	27	23.9%	7	10.9%
どちらかといえば満足	3	37.5%	53	50.0%	53	46.9%	36	56.3%
どちらかといえば不満足	1	12.5%	17	16.0%	29	25.7%	15	23.4%
不満足	0	0.0%	2	1.9%	3	2.7%	6	9.4%
無回答	0	0.0%	1	0.9%	1	0.9%	0	0.0%
合計	8	100.0%	106	100.0%	113	100.0%	64	100.0%

	50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
満足	8	21.1%	6	16.2%	17	38.6%	102	24.9%
どちらかといえば満足	18	47.4%	20	54.1%	15	34.1%	198	48.3%
どちらかといえば不満足	9	23.7%	5	13.5%	9	20.5%	85	20.7%
不満足	2	5.3%	3	8.1%	1	2.3%	17	4.1%
無回答	1	2.6%	3	8.1%	2	4.5%	8	2.0%
合計	38	100.0%	37	100.0%	44	100.0%	410	100.0%

(2)「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した理由【複数回答 N=486】 <問12-1>

「自然環境がよい」が最も多く、「買い物などの日常生活が便利である」、「大阪・名古屋へのアクセスがよい」、「居住環境がよい」の順になっている。

	基数	比率
自然環境がよい	156	51.8%
居住環境がよい	106	35.2%
市内交通の便がよい	42	14.0%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	124	41.2%
地域活動が盛んである	15	5.0%
子育て環境がよい	27	9.0%
教育環境がよい	4	1.3%
福祉施設やサービスが整っている	19	6.3%
医療施設やサービスが充実している	19	6.3%
公共施設が充実している	11	3.7%
買い物などの日常生活が便利である	129	42.9%
その他	12	4.0%
無回答	3	1.0%
合計	667	—



【年齢別】

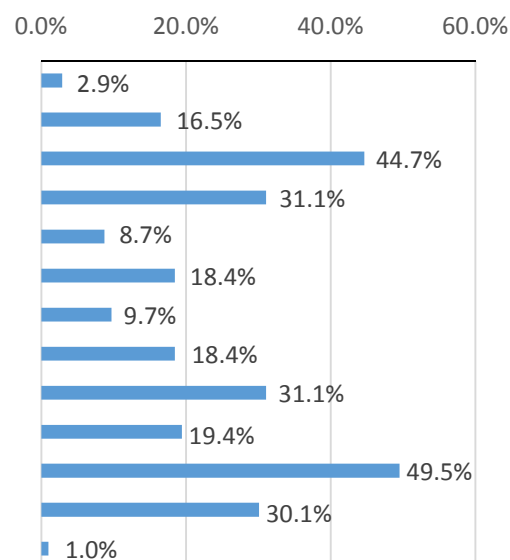
	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよい	3	42.9%	38	44.2%	38	47.5%	24	55.8%
居住環境がよい	1	14.3%	28	32.6%	35	43.8%	16	37.2%
市内交通の便がよい	0	0.0%	10	11.6%	12	15.0%	9	20.9%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	3	42.9%	40	46.5%	34	42.5%	18	41.9%
地域活動が盛ん	0	0.0%	3	3.5%	4	5.0%	5	11.6%
子育て環境がよい	0	0.0%	9	10.5%	7	8.8%	6	14.0%
教育環境がよい	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	1	2.3%
福祉施設やサービスが整っている	0	0.0%	2	2.3%	4	5.0%	2	4.7%
医療施設やサービスが充実	0	0.0%	2	2.3%	4	5.0%	1	2.3%
公共施設が充実	1	14.3%	3	3.5%	3	3.8%	2	4.7%
買い物などの日常生活が便利	2	28.6%	43	50.0%	31	38.8%	20	46.5%
その他	0	0.0%	3	3.5%	4	5.0%	4	9.3%

	50歳代		60歳代		70歳以上	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよい	19	73.1%	15	57.7%	18	56.3%
居住環境がよい	8	30.8%	7	26.9%	10	31.3%
市内交通の便がよい	5	19.2%	3	11.5%	2	6.3%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	16	61.5%	8	30.8%	4	12.5%
地域活動が盛ん	2	7.7%	0	0.0%	1	3.1%
子育て環境がよい	4	15.4%	1	3.8%	0	0.0%
教育環境がよい	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
福祉施設やサービスが整っている	0	0.0%	2	7.7%	9	28.1%
医療施設やサービスが充実	1	3.8%	1	3.8%	10	31.3%
公共施設が充実	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%
買い物などの日常生活が便利	11	42.3%	12	46.2%	9	28.1%
その他	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%

(3)「不満足」、「どちらかといえば不満足」と回答した理由【複数回答 N=486】 <問12-2>

「買い物などの日常生活が不便である」が最も多く、「市内交通の便がよくない」の順になっている。

	基数	比率
自然環境がよくない	3	2.9%
居住環境がよくない	17	16.5%
市内交通の便がよくない	46	44.7%
大阪・名古屋へのアクセスがよくない	32	31.1%
地域活動が盛んでない	9	8.7%
子育て環境がよくない	19	18.4%
教育環境がよくない	10	9.7%
福祉施設やサービスが不十分である	19	18.4%
医療施設やサービスが不十分である	32	31.1%
公共施設が不足している	20	19.4%
買い物などの日常生活が不便である	51	49.5%
その他	31	30.1%
無回答	1	1.0%
合計	290	—



【年齢別】

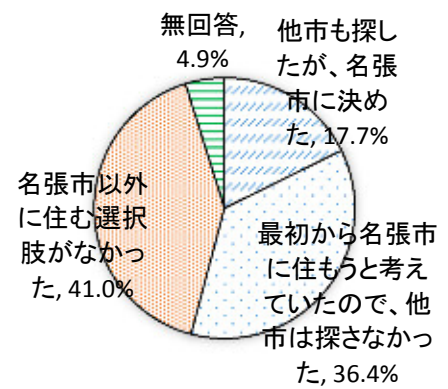
	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%
居住環境がよくない	1	100.0%	5	26.3%	4	12.5%	4	19.0%
市内交通の便がよくない	1	100.0%	10	52.6%	15	46.9%	9	42.9%
大阪・名古屋のアクセスがよくない	1	100.0%	9	47.4%	8	25.0%	8	38.1%
地域活動が盛んでない	0	0.0%	2	10.5%	3	9.4%	2	9.5%
子育て環境がよくない	0	0.0%	2	10.5%	12	37.5%	4	19.0%
教育環境がよくない	0	0.0%	2	10.5%	4	12.5%	2	9.5%
福祉施設やサービスが不十分	0	0.0%	0	0.0%	6	18.8%	4	19.0%
医療施設やサービスが不十分	0	0.0%	3	15.8%	12	37.5%	7	33.3%
公共施設が不足	0	0.0%	5	26.3%	5	15.6%	5	23.8%
買い物などの日常生活が不便	1	100.0%	8	42.1%	17	53.1%	9	42.9%
その他	0	0.0%	5	26.3%	9	28.1%	4	19.0%

	50歳代		60歳代		70歳以上	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよくない	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%
居住環境がよくない	2	18.2%	1	12.5%	0	0.0%
市内交通の便がよくない	5	45.5%	3	37.5%	2	20.0%
大阪・名古屋のアクセスがよくない	1	9.1%	2	25.0%	2	20.0%
地域活動が盛んでない	0	0.0%	1	12.5%	1	10.0%
子育て環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%
教育環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%
福祉施設やサービスが不十分	1	9.1%	4	50.0%	3	30.0%
医療施設やサービスが不十分	2	18.2%	4	50.0%	4	40.0%
公共施設が不足	2	18.2%	1	12.5%	1	10.0%
買い物などの日常生活が不便	6	54.5%	7	87.5%	2	20.0%
その他	7	63.6%	2	25.0%	4	40.0%

9 転入先の検討状況【N=486】〈問13〉

「他市も探したが、名張市に決めた」とした割合は、2割となっている。

	基数	構成比
他市も探したが、名張市に決めた	73	17.7%
最初から名張市に住もうと考えていたので、他市は探さなかった	150	36.4%
名張市以外に住む選択肢がなかった	169	41.0%
無回答	20	4.9%
合計	412	100.0%



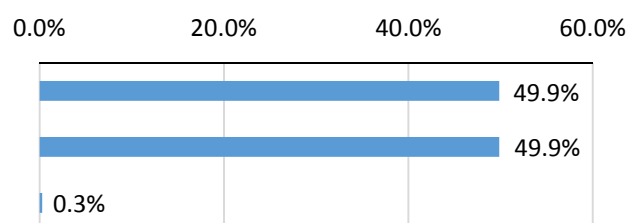
## IV 転出者の調査結果

### 1 調査対象の属性

#### (1)性別 (N=347) <問1>

「男性」、「女性」とも同数となっている。

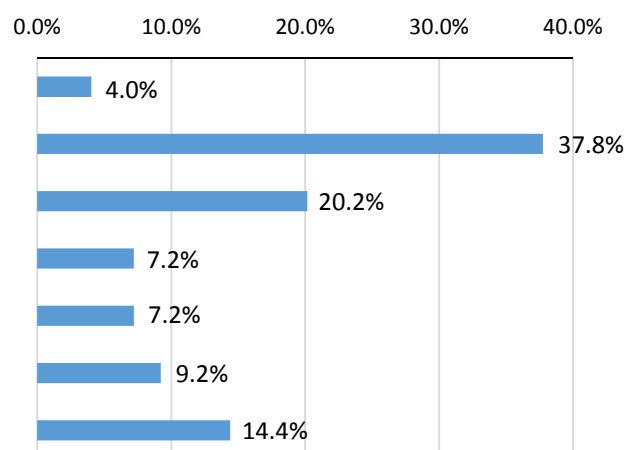
	基数	構成比
男性	173	49.9%
女性	173	49.9%
無回答	1	0.3%
合計	347	100.0%



#### (2)年齢 (N=347) <問2>

「20歳代」と「30歳代」で6割を占めている。

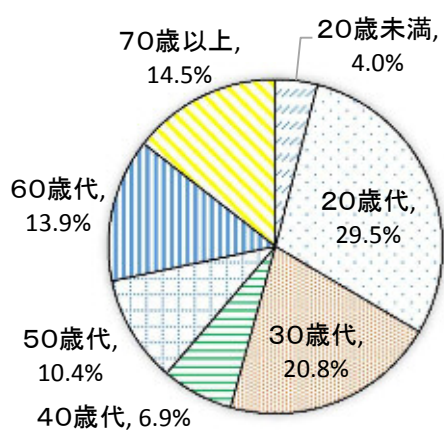
	基数	構成比
20歳未満	14	4.0%
20歳代	131	37.8%
30歳代	70	20.2%
40歳代	25	7.2%
50歳代	25	7.2%
60歳代	32	9.2%
70歳以上	50	14.4%
合計	347	100.0%



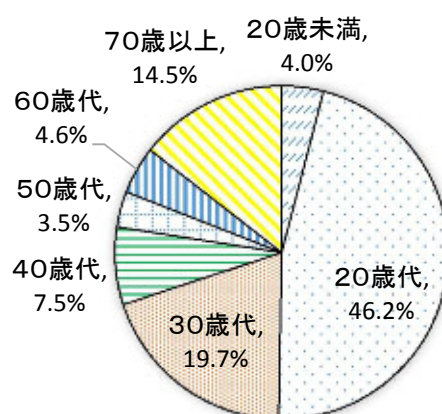
#### 性別・年齢

性別・年齢別でみると、男性・女性とも「20歳代」と「30歳代」が多く、「男性」では5割、「女性」で7割近くを占めている。次いで、70歳以上の割合が多くなっている。

#### 【男性】

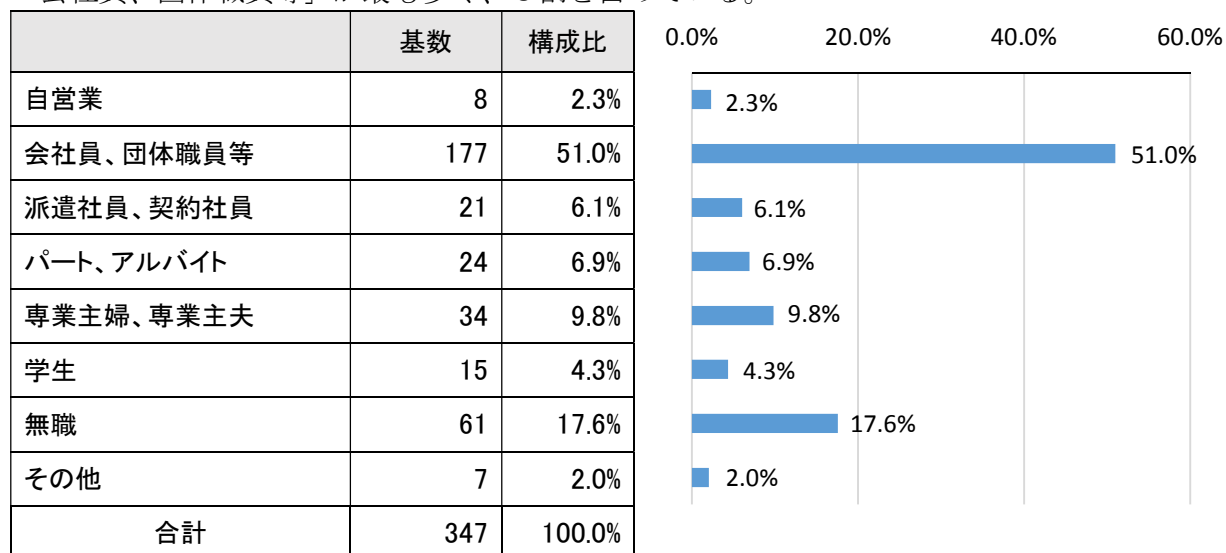


#### 【女性】



#### (3)職業 (N=347) <問3>

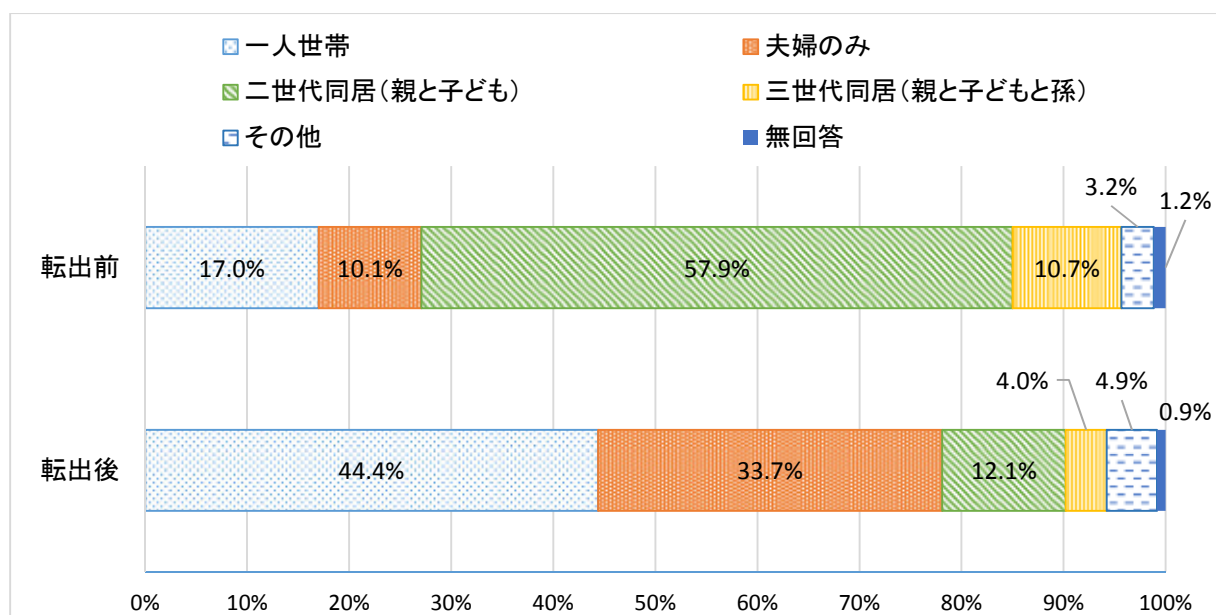
「会社員、団体職員等」が最も多く、5割を占めている。



#### (4) 転出前後の家族構成 (N=347) <問4>

転出前は、「二世世代同居(親と子ども)」が6割と最も多く、転出後は、「一人世帯」「夫婦のみ」の割合が高くなっている。

	転出前		転出後	
	基数	構成比	基数	構成比
一人世帯	59	17.0%	154	44.4%
夫婦のみ	35	10.1%	117	33.7%
二世世代同居(親と子ども)	201	57.9%	42	12.1%
三世世代同居(親と子どもと孫)	37	10.7%	14	4.0%
その他	11	3.2%	17	4.9%
無回答	4	1.2%	3	0.9%
合計	347	100.0%	347	100.0%

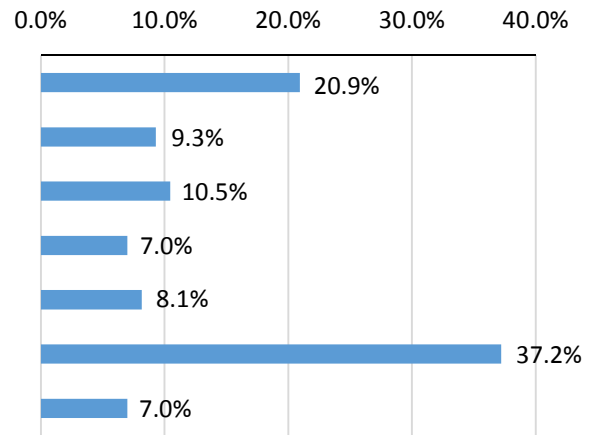


#### (5) 同居している子どもの属性 (N=86) <問4-1>



「社会人・アルバイト等」が最も多く、次いで「就学前」の順となっている。

	基数	構成比
就学前	18	20.9%
小学生	8	9.3%
中学生	9	10.5%
高校生	6	7.0%
大学・高専・専門学校生	7	8.1%
社会人・アルバイト等	32	37.2%
その他	6	7.0%
合計	86	100.0%



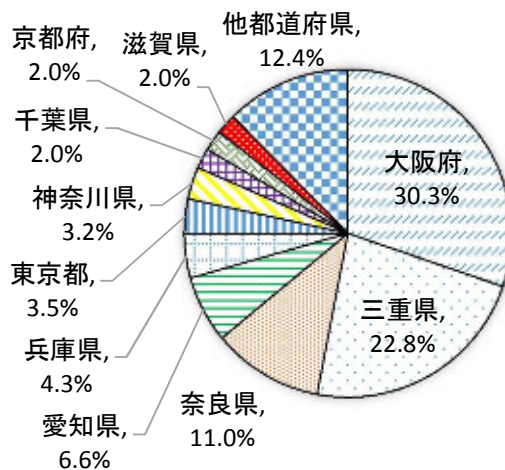
## 2 転出前後の居住状況

### (1) 転出後の居住地 (N=347) <問5>

#### 【都道府県別(上位10位と他都道府県)(N=347)】

「大阪府」をはじめ、「奈良県」、「兵庫県」、「京都府」、「滋賀県」の関西圏への転出が5割、三重県内の割合は2割となっている。

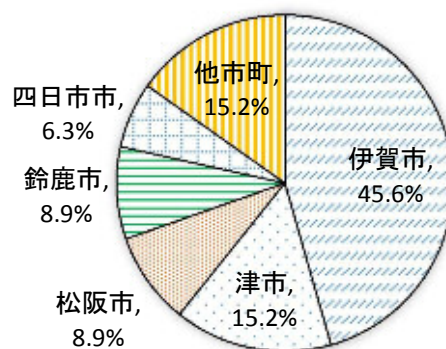
		基数	構成比
1	大阪府	105	30.3%
2	三重県	79	22.8%
3	奈良県	38	11.0%
4	愛知県	23	6.6%
5	兵庫県	15	4.3%
6	東京都	12	3.5%
7	神奈川県	11	3.2%
8	千葉県	7	2.0%
8	京都府	7	2.0%
8	滋賀県	7	2.0%
	他都道府県	43	12.4%
	合計	347	100.0%



#### 【三重県内別(N=79)】

三重県内への転出のうち、「伊賀市」への転出が最も多く約半数、次いで「津市」、「松阪市」、「鈴鹿市」、「四日市市」となっている。

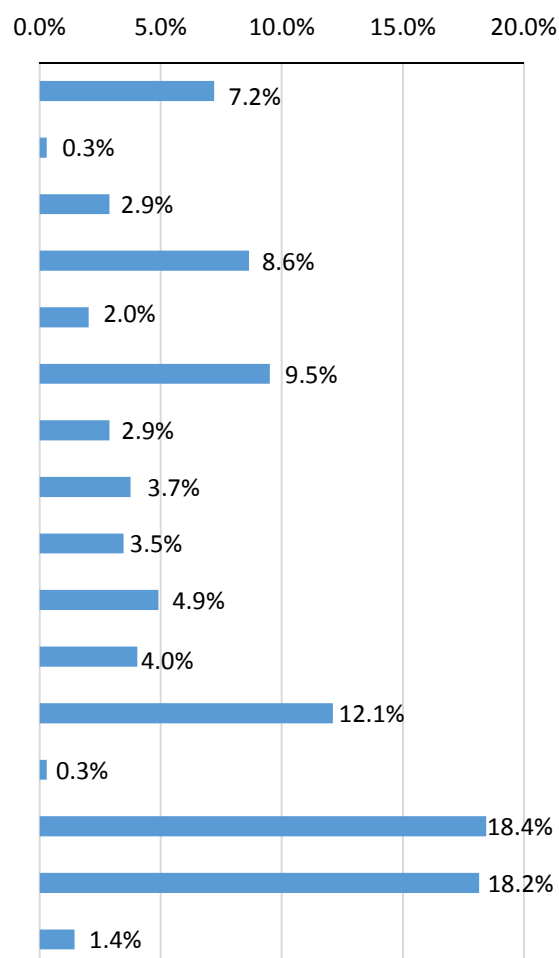
		基数	構成比
1	伊賀市	36	45.6%
2	津市	12	15.2%
3	松阪市	7	8.9%
4	鈴鹿市	7	8.9%
5	四日市市	5	6.3%
	他市町	12	15.2%
	合計	79	100.0%



## (2) 転出前の居住地 (N=347) <問6>

地域づくり組織の単位では、「桔梗が丘地域」、「つつじが丘地域」が多くなっている。

	基数	構成比
名張地域	25	7.2%
鴻之台希中央地域	1	0.3%
蔵持地域	10	2.9%
梅ヶ丘地域	30	8.6%
薦原地域	7	2.0%
美旗地域	33	9.5%
比奈知地域	10	2.9%
すずらん台地域	13	3.7%
錦生地域	12	3.5%
赤目地域	17	4.9%
箕曲地域	13	3.7%
百合が丘地域	43	12.4%
国津地域	1	0.3%
桔梗が丘地域	64	18.4%
つつじが丘地域	63	18.2%
無回答	5	1.4%
合計	347	100.0%

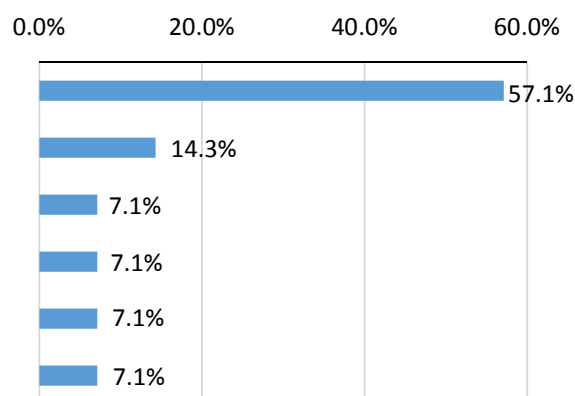


※地域分けは、地域づくり組織の単位で集計。

## 3 転出後の通勤・通学先 <問7>

【転出後も名張市に通勤・通学している人の転出地域】(N=14)

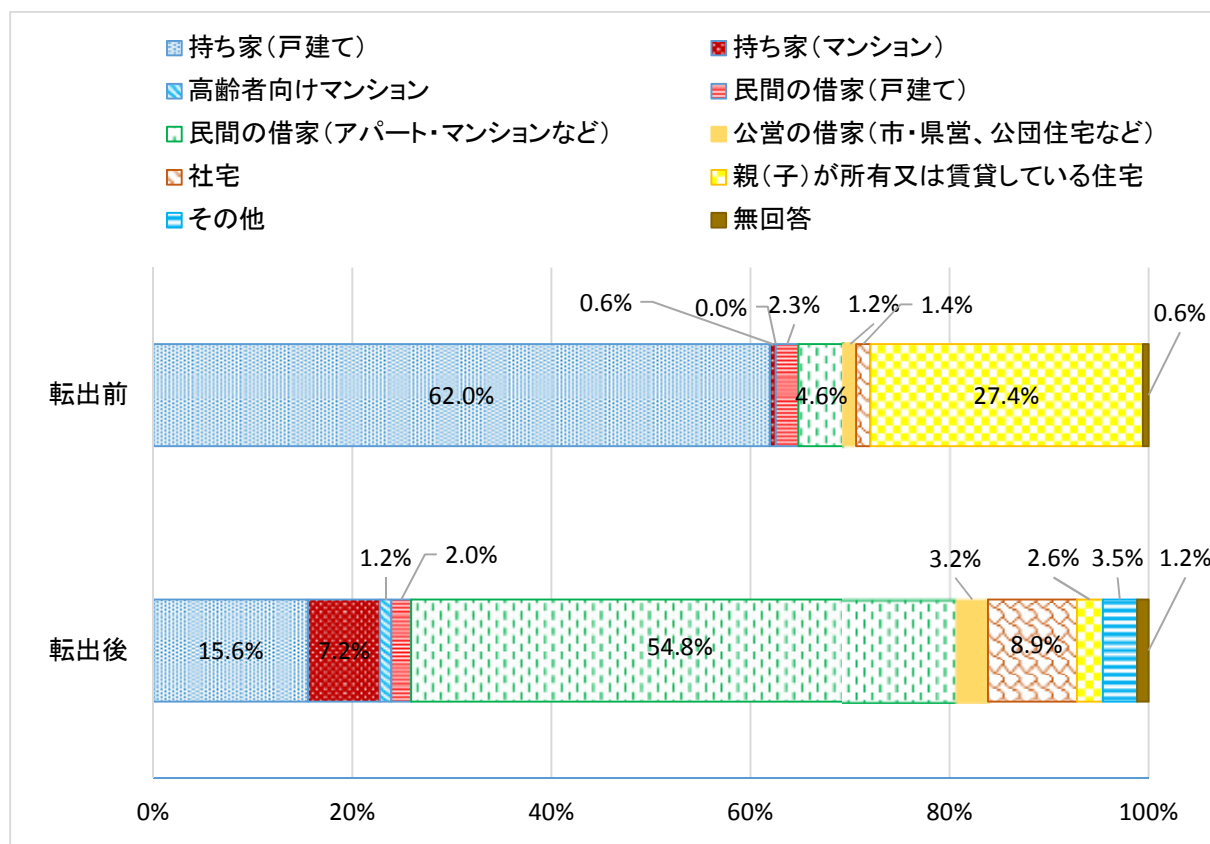
	基数	構成比
伊賀市	8	57.1%
宇陀市	2	14.3%
津市	1	7.1%
松阪市	1	7.1%
天理市	1	7.1%
大和郡山市	1	7.1%
合計	14	100.0%



#### 4 転出前後の居住形態 (N=347) <問8>

転出前の居住形態は、「持ち家(戸建て)」と「親(子)が所有又は賃貸している住宅」とで大半であったが、転出後は、「民間の借家(アパート・マンションなど)」が6割と多く、「持ち家(マンション)」、「社宅」の比率が増えている。

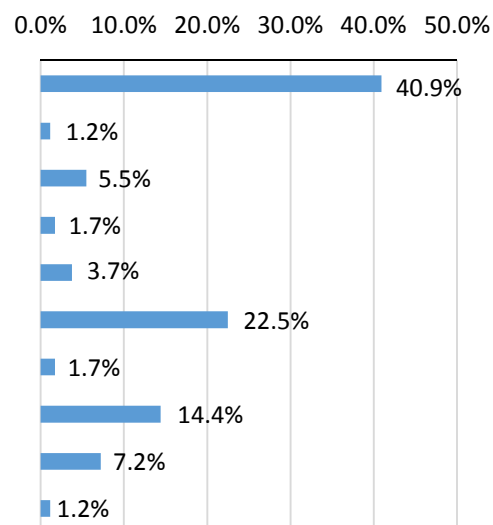
	転出前		転出後	
	基数	構成比	基数	構成比
持ち家(戸建て)	215	62.0%	54	15.6%
持ち家(マンション)	2	0.6%	25	7.2%
高齢者向けマンション	0	0.0%	4	1.2%
民間の借家(戸建て)	8	2.3%	7	2.0%
民間の借家(アパート・マンションなど)	16	4.6%	190	54.8%
公営の借家(市・県営、公団住宅など)	4	1.2%	11	3.2%
社宅	5	1.4%	31	8.9%
親(子)が所有又は賃貸している住宅	95	27.4%	9	2.6%
その他	0	0.0%	12	3.5%
無回答	2	0.6%	4	1.2%
合計	347	100.0%	347	100.0%



### 5 転出のきっかけ (N=347) <問9>

転居のきっかけは、「あなたの仕事の都合」が最も多く、以下、「結婚のため」、「親や子ども等との同居、近居」となっている。

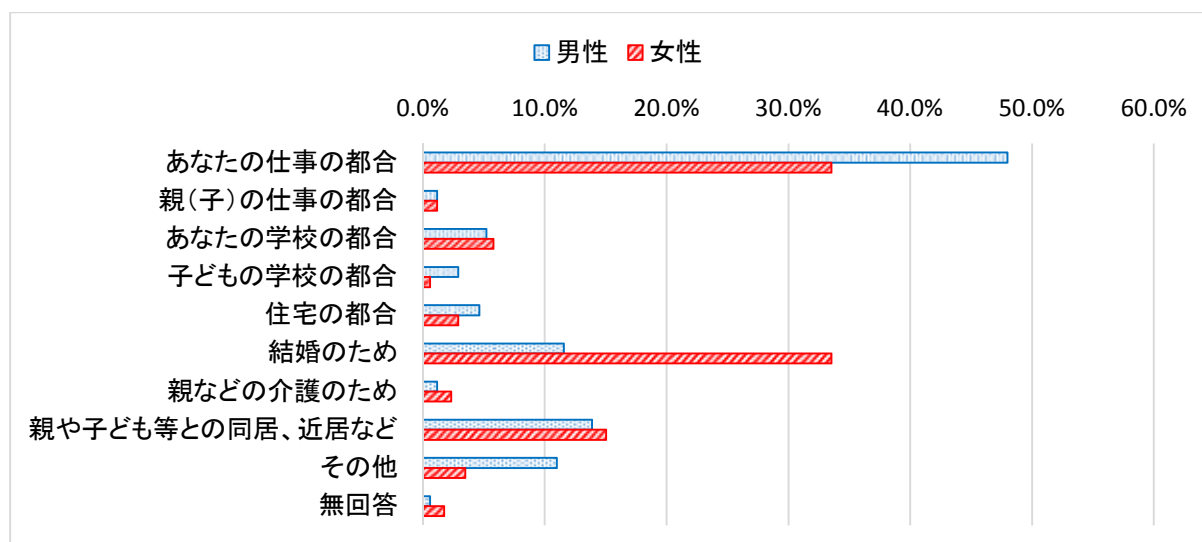
	基数	構成比
あなたの仕事の都合	142	40.9%
親(子)の仕事の都合	4	1.2%
あなたの学校の都合	19	5.5%
子どもの学校の都合	6	1.7%
住宅の都合	13	3.7%
結婚のため	78	22.5%
親などの介護のため	6	1.7%
親や子ども等との同居、近居など	50	14.4%
その他	25	7.2%
無回答	4	1.2%
合計	347	100.0%



#### 【男女別】

男性は、「あなたの仕事の都合」が5割と最も多く、女性は、「あなたの仕事の都合」と「結婚のため」の割合が高く、7割を占めている。

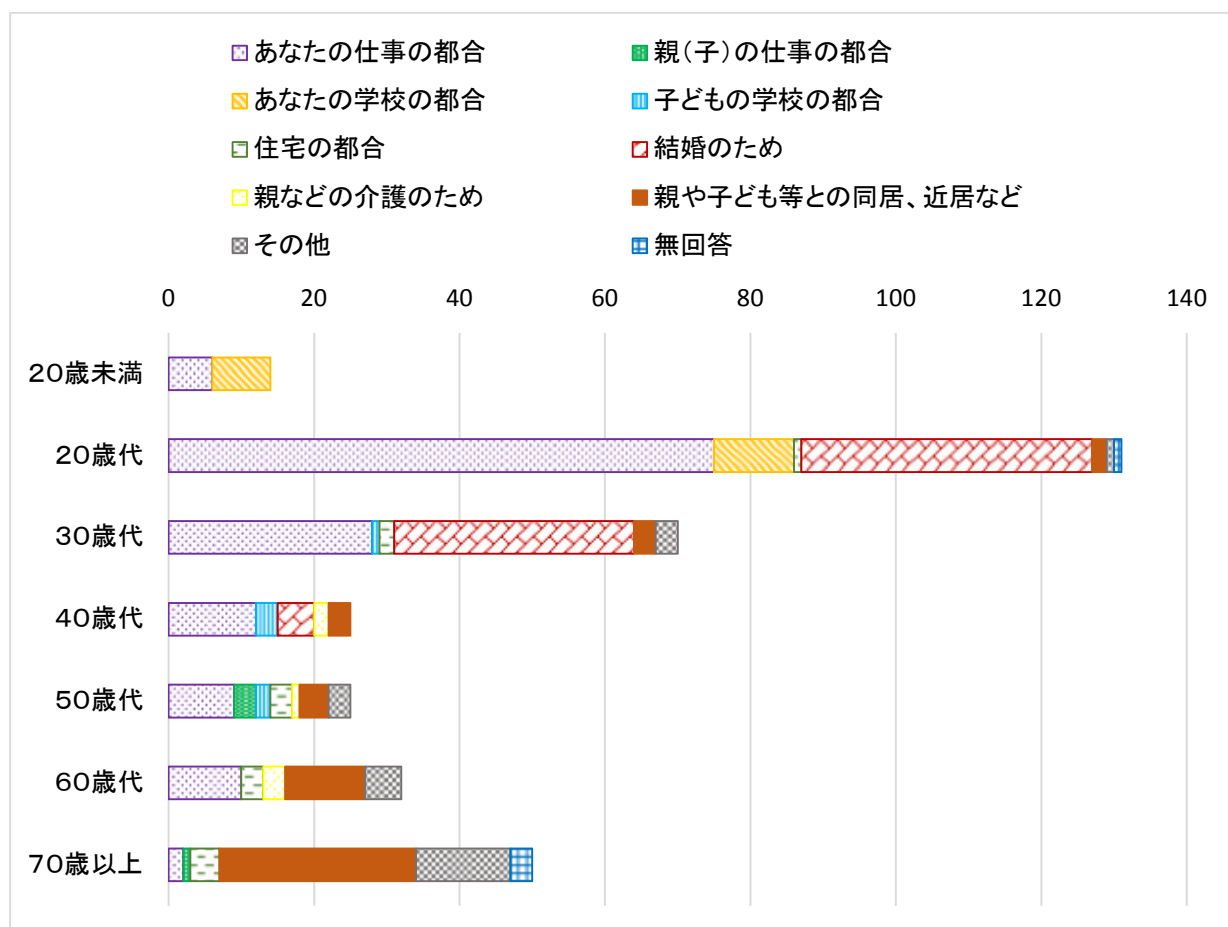
	男性		女性	
	基数	構成比	基数	構成比
あなたの仕事の都合	83	48.0%	58	33.5%
親(子)の仕事の都合	2	1.2%	2	1.2%
あなたの学校の都合	9	5.2%	10	5.8%
子どもの学校の都合	5	2.9%	1	0.6%
住宅の都合	8	4.6%	5	2.9%
結婚のため	20	11.6%	58	33.5%
親などの介護のため	2	1.2%	4	2.3%
親や子ども等との同居、近居など	24	13.9%	26	15.0%
その他	19	11.0%	6	3.5%
無回答	1	0.6%	3	1.7%
合計	173	100.0%	173	100.0%



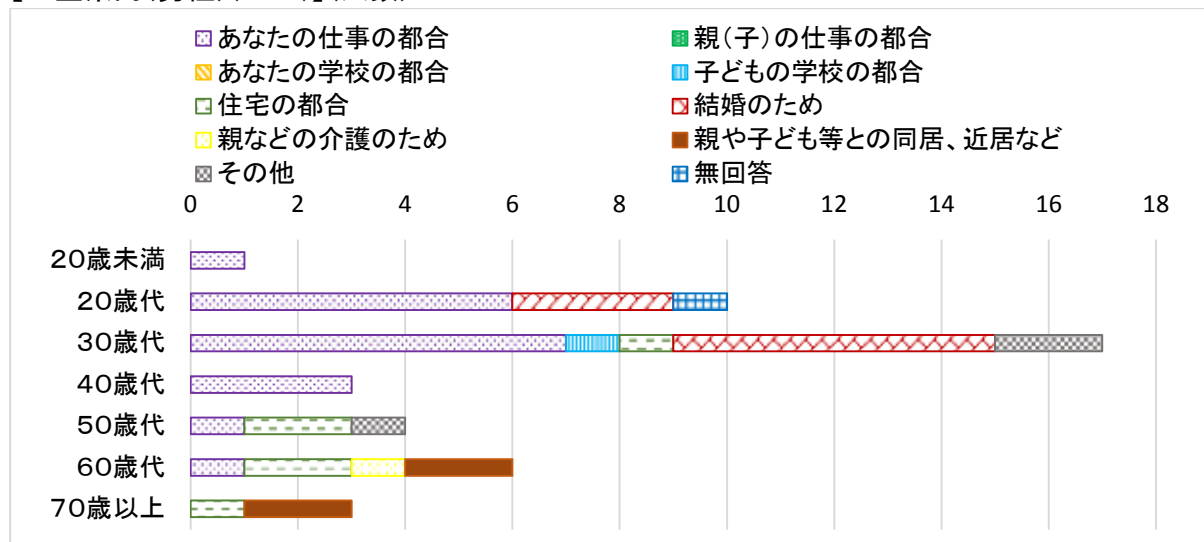
【年齢別(人数)(N=347)】

年齢別の転出のきっかけは、「20歳代」、「30歳代」では、「あなたの仕事の都合」、「結婚のため」が大半のきっかけとなっており、「70歳以上」では、「親や子ども等との同居、近居など」が約半数となっている。

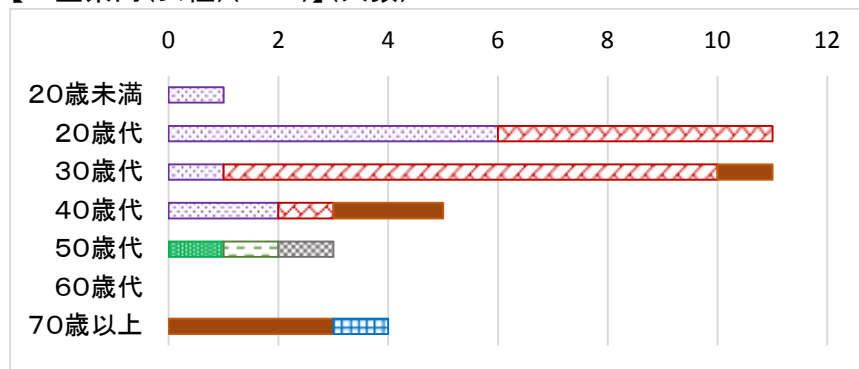
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計(人)
あなたの仕事の都合	6	75	28	12	9	10	2	142
親(子)の仕事の都合	0	0	0	0	3	0	1	4
あなたの学校の都合	8	11	0	0	0	0	0	19
子どもの学校の都合	0	0	1	3	2	0	0	6
住宅の都合	0	1	2	0	3	3	4	13
結婚のため	0	40	33	5	0	0	0	78
親などの介護のため	0	0	0	2	1	3	0	6
親や子ども等との同居、近居など	0	2	3	3	4	11	27	50
その他	0	1	3	0	3	5	13	25
無回答	0	1	0	0	0	0	3	4
合計(人)	14	131	70	25	25	32	50	347



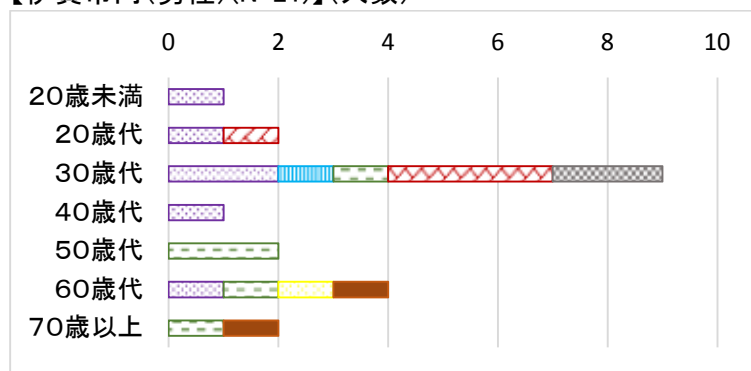
【三重県内(男性)(N=44)】(人数)



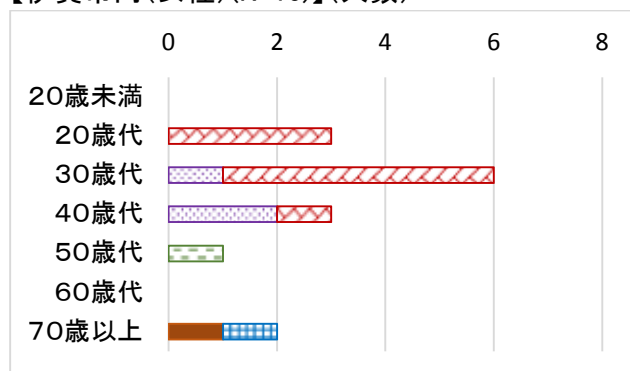
【三重県内(女性)(N=35)】(人数)



【伊賀市内(男性)(N=21)】(人数)



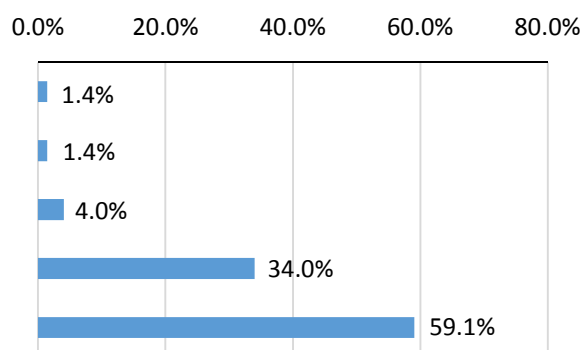
【伊賀市内(女性)(N=15)】(人数)



## 6 名張市での居住年数 (N=347) <問10>

通算の居住年数は、「20年以上」と「10年以上～20年未満」で、9割以上となっている。

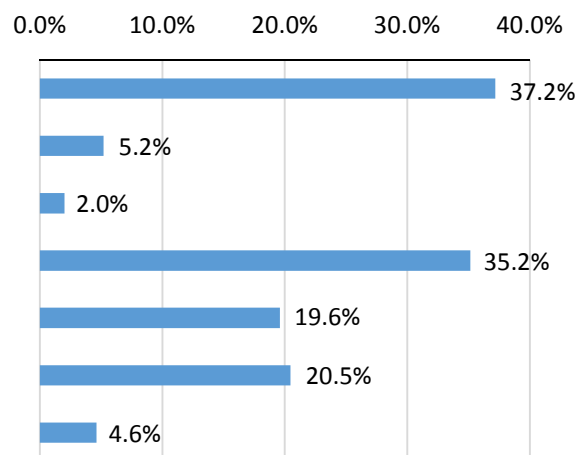
	基数	構成比
1年未満	5	1.4%
1年以上～5年未満	5	1.4%
5年以上～10年未満	14	4.0%
10年以上～20年未満	118	34.0%
20年以上	205	59.1%
合計	347	100.0%



## 7 転出にあたっての住まい探しの情報源【複数回答】(N=431) <問11>

「インターネット」、「不動産事業者」の比率が高くなっている。

	基数	比率
インターネット	129	37.2%
住宅情報誌	18	5.2%
住宅展示場	7	2.0%
不動産業者	122	35.2%
親族・知人	68	19.6%
その他	71	20.5%
無回答	16	4.6%
合計	431	—

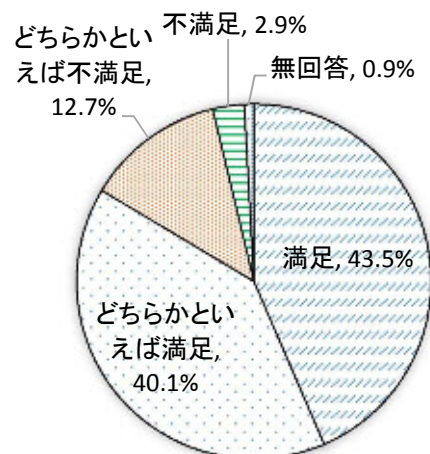


## 8 名張市での住みやすさ(満足度等)に関する評価

### (1) 満足度、不満足度 (N=347) <問12>

「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせると8割を超えている。

	基数	構成比
満足	151	43.5%
どちらかといえば満足	139	40.1%
どちらかといえば不満足	44	12.7%
不満足	10	2.9%
無回答	3	0.9%
合計	347	100.0%

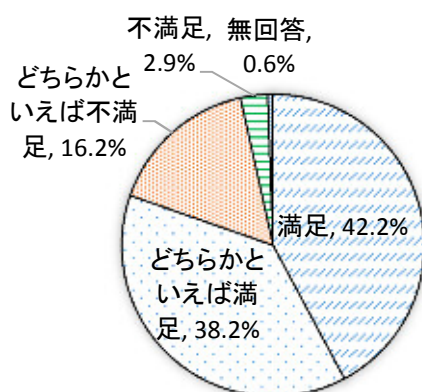




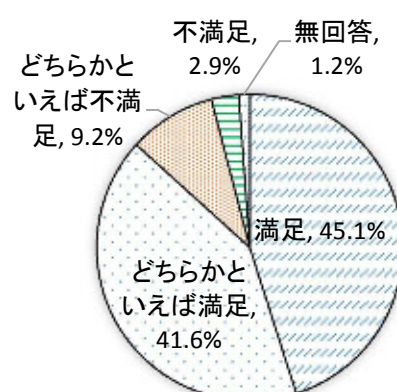
【男女別】

	男性		女性	
	基数	構成比	基数	構成比
満足	73	42.2%	78	45.1%
どちらかといえば満足	66	38.2%	72	41.6%
どちらかといえば不満足	28	16.2%	16	9.2%
不満足	5	2.9%	5	2.9%
無回答	1	0.6%	2	1.2%
合計	173	100.0%	173	100.0%

<男性>



<女性>



【年齢別】

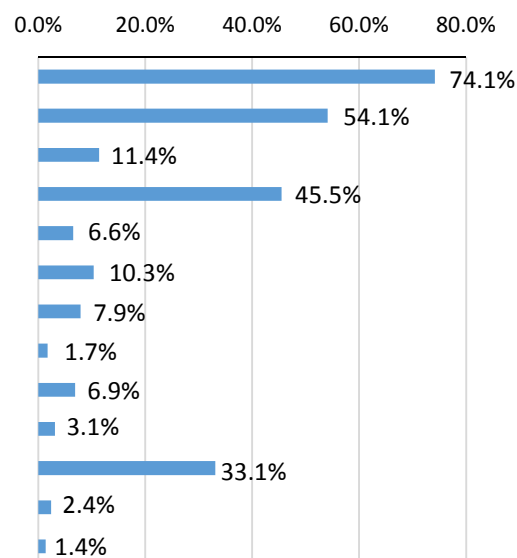
	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
満足	5	35.7%	80	61.1%	33	47.1%	8	32.0%
どちらかといえば満足	7	50.0%	42	32.1%	24	34.3%	9	36.0%
どちらかといえば不満足	2	14.3%	7	5.3%	9	12.9%	6	24.0%
不満足	0	0.0%	2	1.5%	3	4.3%	2	8.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
合計	14	100.0%	131	100.0%	70	100.0%	25	100.0%

	50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
満足	5	20.0%	3	9.4%	17	34.0%	151	43.5%
どちらかといえば満足	15	60.0%	20	62.5%	22	44.0%	139	40.1%
どちらかといえば不満足	4	16.0%	8	25.0%	8	16.0%	44	12.7%
不満足	1	4.0%	0	0.0%	2	4.0%	10	2.9%
無回答	0	0.0%	1	3.1%	1	2.0%	3	0.9%
合計	25	100.0%	32	100.0%	50	100.0%	347	100.0%

(2)「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した理由【複数回答N=290】 <問12-1>

「環境がよい」が最も多く、次いで「住居環境がよい」、「大阪・名古屋へのアクセスがよい」の比率が高くなっている。

	基数	比率
自然環境がよい	215	74.1%
住居環境がよい	157	54.1%
市内交通の便がよい	33	11.4%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	132	45.5%
地域活動が盛んである	19	6.6%
子育て環境がよい	30	10.3%
教育環境がよい	23	7.9%
福祉施設やサービスが整っている	5	1.7%
医療施設やサービスが充実している	20	6.9%
公共施設が充実している	9	3.1%
買い物などの日常生活が便利である	96	33.1%
その他	7	2.4%
無回答	4	1.4%
合計	750	—



【年齢別】

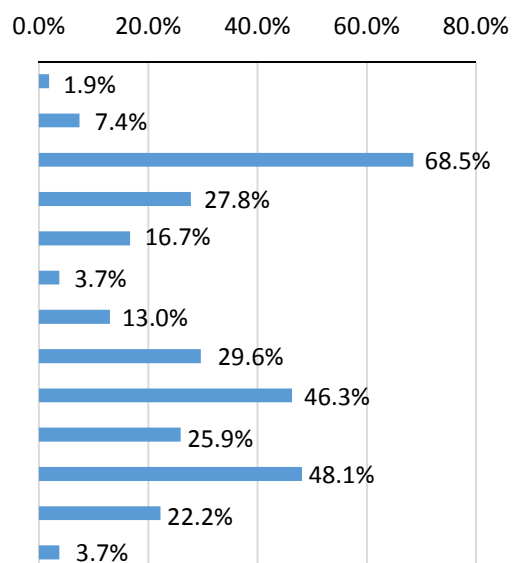
	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよい	10	83.3%	98	80.3%	37	64.9%	10	58.8%
住居環境がよい	6	50.0%	75	61.5%	27	47.4%	7	41.2%
市内交通の便がよい	3	25.0%	19	15.6%	6	10.5%	1	5.9%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	5	41.7%	68	55.7%	24	42.1%	9	52.9%
地域活動が盛ん	2	16.7%	4	3.3%	2	3.5%	0	0.0%
子育て環境がよい	1	8.3%	11	9.0%	7	12.3%	3	17.6%
教育環境がよい	3	25.0%	14	11.5%	3	5.3%	3	17.6%
福祉施設やサービスが整っている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
医療施設やサービスが充実	1	8.3%	6	4.9%	3	5.3%	2	11.8%
公共施設が充実	1	8.3%	3	2.5%	0	0.0%	1	5.9%
買い物などの日常生活が便利	3	25.0%	37	30.3%	25	43.9%	7	41.2%
その他	1	8.3%	3	2.5%	1	1.8%	0	0.0%

	50歳代		60歳代		70歳以上	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよい	15	75.0%	18	78.3%	27	69.2%
住居環境がよい	12	60.0%	11	47.8%	19	48.7%
市内交通の便がよい	1	5.0%	2	8.7%	1	2.6%
大阪・名古屋へのアクセスがよい	5	25.0%	12	52.2%	9	23.1%
地域活動が盛ん	4	20.0%	2	8.7%	5	12.8%
子育て環境がよい	5	25.0%	2	8.7%	1	2.6%
教育環境がよい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
福祉施設やサービスが整っている	1	5.0%	1	4.3%	3	7.7%
医療施設やサービスが充実	2	10.0%	1	4.3%	5	12.8%
公共施設が充実	1	5.0%	2	8.7%	1	2.6%
買い物などの日常生活が便利	5	25.0%	9	39.1%	10	25.6%
その他	0	0.0%	1	4.3%	1	2.6%

(3)「不満足」、「どちらかといえば不満足」と回答した理由【複数回答N=54】 <問12-2>

「市内交通の便がよくない」が最も多く、次いで「買い物などの日常生活が不便である」、「医療施設やサービスが不十分である」の比率が高くなっている。

	基数	比率
自然環境がよくない	1	1.9%
居住環境がよくない	4	7.4%
市内交通の便がよくない	37	68.5%
大阪・名古屋へのアクセスがよくない	15	27.8%
地域活動が盛んでない	9	16.7%
子育て環境がよくない	2	3.7%
教育環境がよくない	7	13.0%
福祉施設やサービスが不十分である	16	29.6%
医療施設やサービスが不十分である	25	46.3%
公共施設が不足している	14	25.9%
買い物などの日常生活が不便である	26	48.1%
その他	12	22.2%
無回答	2	3.7%
合計	170	—



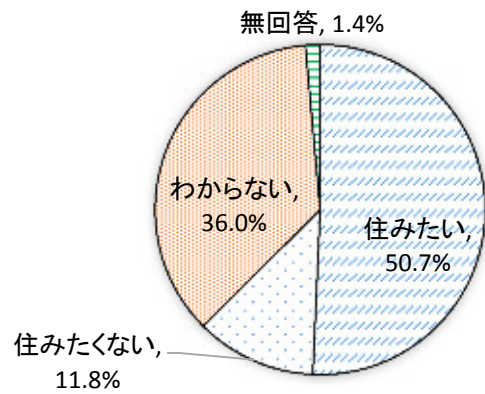
【年齢別】

	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	2	25.0%
市内交通の便がよくない	2	100.0%	8	88.9%	5	41.7%	4	50.0%
大阪・名古屋のアクセスがよくない	0	0.0%	1	11.1%	4	33.3%	2	25.0%
地域活動が盛んでない	0	0.0%	1	11.1%	2	16.7%	0	0.0%
子育て環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	12.5%
教育環境がよくない	0	0.0%	1	11.1%	2	16.7%	2	25.0%
福祉施設やサービスが不十分	1	50.0%	1	11.1%	5	41.7%	0	0.0%
医療施設やサービスが不十分	0	0.0%	4	44.4%	4	33.3%	1	12.5%
公共施設が不足	1	50.0%	1	11.1%	3	25.0%	2	25.0%
買い物などの日常生活が不便	2	100.0%	6	66.7%	4	33.3%	3	37.5%
その他	0	0.0%	2	22.2%	5	41.7%	1	12.5%

	50歳代		60歳代		70歳以上	
	基数	比率	基数	比率	基数	比率
自然環境がよくない	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住環境がよくない	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%
市内交通の便がよくない	4	80.0%	6	75.0%	8	80.0%
大阪・名古屋のアクセスがよくない	3	60.0%	1	12.5%	4	40.0%
地域活動が盛んでない	2	40.0%	2	25.0%	2	20.0%
子育て環境がよくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教育環境がよくない	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%
福祉施設やサービスが不十分	0	0.0%	5	62.5%	4	40.0%
医療施設やサービスが不十分	1	20.0%	7	87.5%	8	80.0%
公共施設が不足	2	40.0%	1	12.5%	4	40.0%
買い物などの日常生活が不便	1	20.0%	5	62.5%	5	50.0%
その他	2	40.0%	2	25.0%	0	0.0%

9 名張市での再居住の意向 (N=347) <問13>  
再居住の意向は、半数となっている。

	基数	構成比
住みたい	176	50.7%
住みたくない	41	11.8%
わからない	125	36.0%
無回答	5	1.4%
合計	347	100.0%



## V 名張市に対する意見(自由記載)

今回の調査における回答者のうち、転入者412人に対して205人(49.8%)、転出者347人に対して153人(44.1%)からご意見、ご要望問いをいただきました。

ご意見、ご要望(延べ件数で転入者319件、転出者240件の合計559件)は、転入者、転出者ごとに下記の項目により分類しました。

(件数)

	合計	転入者	転出者
鉄道、路線バス、公共交通機関に関する意見	61	23	38
道路、歩道、駐車場に関する意見	45	31	14
市街地、駅周辺、公園整備などに関する意見	21	11	10
保健、医療(病院、産科等)、福祉に関する意見	59	28	31
子育て支援、保育等に関する意見	34	28	6
教育、文化、スポーツ、図書館等に関する意見	27	13	14
雇用の創出、企業誘致、地域産業等に関する意見	24	10	14
商業、娯楽施設(映画館、アミューズ等)に関する意見	59	33	26
住環境(住宅、自然、河川、上下水道、景観等)に関する意見	24	9	15
観光、イベント、行政情報等の発信に関する意見	26	14	12
治安の改善、防犯、防災に関する意見	10	7	3
ごみ、リサイクル、環境対策に関する意見	16	14	2
行政窓口、行政全般に関する意見	58	44	14
職員の接遇・態度に関する意見	7	2	5
その他の意見	88	52	36
合 計	559	319	240

## ○自由表記の概要

下記の表は、転入・転出者からの名張市に対する自由意見のうち、主な意見を要約し、概要版としてまとめたものです。

<b>鉄道、路線バス、公共交通機関に関する意見【合計 61 件(転入 23 件、転出 38 件)】</b>
・自家用車が無いと、買い物など何をするにも不便である。コミュニティバスの更なる増発等を検討してほしい。
・バス、鉄道の運賃が高く、本数が少ないため不便で利用しづらい。また、バスと鉄道との連絡が悪く、長時間待たなければならないこともあり改善してほしい。
<b>道路、歩道、駐車場に関する意見【合計 45 件(転入 31 件、転出 14 件)】</b>
・道路や歩道がデコボコな個所が多く危険である。また、道路の白線が消えているため、運転するのが怖い。
・歩道や街灯など、歩行者に対する道路環境の整備を希望する。
・国道 165 号、368 号の渋滞緩和を早急に進めてほしい。
<b>市街地、駅周辺、公園整備などに関する意見【合計 21 件(転入 11 件、転出 10 件)】</b>
・名張、桔梗が丘駅前の再開発や商業集積による活性化を望む。
・大型の遊具等を設置し、家族で楽しめる大きな公園を整備してほしい。
<b>保健、医療(病院、産科等)、福祉に関する意見【合計 59 件(転入 28 件、転出 31 件)】</b>
・乳幼児医療費の病院窓口での負担を改善してほしい。一旦支払って、後に振り込まれるのは面倒である。
・市内には産婦人科の病院が少ないため里帰り出産に不安を感じている。市立病院に診療科を設置してほしい。
・医療、福祉に関する相談窓口や施設、サービスの充実が必要である。
<b>子育て支援、保育等に関する意見【合計 34 件(転入 28 件、転出 6 件)】</b>
・待機児童の問題を解消し、安心して子育てできる環境を整備してほしい。
・子育て世帯が多く住む地域の周辺に保育所や幼稚園の設置を検討してほしい。
・屋内、屋外ともに子どもが遊べる施設が少ないと思う。
<b>教育、文化、スポーツ、図書館等に関する意見【合計 27 件(転入 13 件、転出 14 件)】</b>
・スポーツ施設を充実させることにより、市民の健康増進とスポーツ合宿などによる集客が期待できる。
・図書館の蔵書を増やしてほしい。また、貸出期間や施設利用のマナーを改善してほしい。
<b>雇用の創出、企業誘致、地域産業等に関する意見【合計 24 件(転入 10 件、転出 14 件)】</b>
・仕事する場所が充実していれば親元を離れて都市部に就職することもなかった。企業を誘致し、地元での雇用の場が増えれば良いと思う。
・正社員での雇用が少なく、また、求人のある業種が製造業などに偏っており、女性が働ける職場が少ない。
<b>商業、娯楽施設(映画館、アミューズ等)に関する意見【合計 59 件(転入 33 件、転出 26 件)】</b>
・名張の良さをもっと発揮し、地元店が頑張っていけるような支援が必要と思う。
・映画館やアミューズメント施設を備えた大型ショッピングモール等の商業施設を充実させてほしい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は移動手段が制約されるため、買い物等が不便である。住宅地のシャッター街となっている商店街を復活させてほしい。</li> </ul>
<b>住環境(住宅、自然、河川、上下水道、景観等)に関する意見【合計 24 件(転入 9 件、転出 15 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで良い環境だと思う。このまま緑を大切にしてほしい。</li> <li>・ライフラインのうち、下水道設備が未だ民間に任せたままで進展しない住宅地がある。都市ガスの施設整備も必要と思う。</li> </ul>
<b>観光、イベント、行政情報等の発信に関する意見【合計 26 件(転入 14 件、転出 12 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤目四十八滝に加え、青蓮寺・香落溪など自然豊かで美しい観光資源や名張の特産品、また、自然が豊かで子育てがしやすい面をもっとPRすべきと思う。</li> <li>・農と食つなげる催しや街歩きのイベントを定期的に継続して開催すれば、地域の活性化にもつながると思う。</li> </ul>
<b>治安の改善、防犯、防災に関する意見【合計 10 件(転入 7 件、転出 3 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少ないため、夜道を歩くのが怖い。</li> </ul>
<b>ごみ、リサイクル、環境対策に関する意見【合計 16 件(転入 14 件、転出 2 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空地の草刈を徹底させてほしい。側溝や道路上にまで草が伸び危険である。</li> <li>・有料ごみ袋の価格を見直してほしい。</li> </ul>
<b>行政窓口、行政全般に関する意見【合計 58 件(転入 44 件、転出 14 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、若年夫婦を対象にしたマイホーム取得補助制度などあれば、若い層の家族のマイホーム購入のきっかけになり、長く名張市に住み続ける人が増えるのではと思う。</li> <li>・固定資産税が上がるが、さらに街の魅力を上げる努力が必要なのでは(企業誘致、子供手当、子育てしやすい街、都市へのアクセス)。大阪や奈良に名張から移り住む人がなぜなのかももっと考えたらどうか。</li> <li>・税収については人口の伸び悩み、退職世代の増加などで厳しいとは思いますが、削減すべき所と削減すべきでない所のサービスをもっと適切に判断していく必要があり、ふるさと納税制度をもっと積極的に活用するなど、より一層の努力が必要だと思う。</li> </ul>
<b>職員の接遇・態度に関する意見【合計 7 件(転入 2 件、転出 5 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の窓口職員のもっと丁寧な対応をお願いしたい。以前、上から目線の対応に嫌な思いをしました。</li> <li>・父の介護にあたり、一時預かりや施設の件など、市役所の方には大変お世話になり感謝しています。</li> </ul>
<b>その他の意見【合計 88 件(転入 52 件、転出 36 件)】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方の運転率が高く、それ自体は良いが、危ない運転がとても多いと思います。講習する場を設けるなど、少しでも改善してほしいです。</li> <li>・老後の事を考えると子どもの住んでいる近くで住みたいという願望でマンションを購入し、転居しました。現在妻は名張市に住んでおり、行ったり来たりしている。</li> <li>・名張は大好きな地元です。また帰って来た時に「ワッ！」と驚くような変化があればと思います。“元気な名張市”を応援しています。</li> </ul>

# 調 查 票



## 名張市に転入された皆さまへ

### — アンケート調査ご協力のお願い —

皆さまには、日ごろより市政にご協力いただき、ありがとうございます。

名張市では、人口減少と高齢化が進展する中、人口の現状と課題を分析し、人口減少に歯止めをかけるため、また、いつまでも「住みよい」、「住み続けたいまち」であり続けるために、新たな政策に取り組むこととしており、各種の情報収集に努めているところです。

このアンケート調査は、名張市に転入された皆さまの動機等についてお聞きし、今後の市政運営に役立てるため、平成26年7月から27年6月の間に転入された世帯から、無作為に抽出した1,000人の皆さまにお送りしています。

なお、集計結果は統計的に処理し、公表させていただく予定ですが、**無記名方式**のため、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年9月 名張市長 亀井利克

#### 【ご記入にあたってのお願い】

○問いには、ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。

○ご記入いただいた調査票は、9月24日(木)までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ご返送ください。

○ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### 問合せ先

名張市 企画財政部 総合企画政策室

電話0595-65-7389

## 【転入者向けアンケート調査票】

問1 あなた（あて名ご本人）の性別をお答えください。（1つに○印）

- ① 男                      ② 女

問2 あなたの年齢をお答えください。（1つに○印）

- ① 20 歳未満      ② 20 歳代      ③ 30 歳代      ④ 40 歳代  
⑤ 50 歳代      ⑥ 60 歳代      ⑦ 70 歳以上

問3 あなたのご職業は、つぎのうちどれですか。（1つに○印）

- ① 自営業                      ② 会社員、団体職員、公務員      ③ 派遣社員、契約社員  
④ パート、アルバイト      ⑤ 専業主婦、専業主夫      ⑥ 学生  
⑦ 無職                      ⑧ その他（                      ）

問4 名張市に転入前と転入後の家族構成は、つぎのうちどれですか。

（転入前、転入後それぞれの1つに○印）

### 【転入前】

- ① 一人世帯  
② 夫婦のみ  
③ 二世帯同居（夫婦と子ども）  
④ 三世帯同居（夫婦と親と子ども）  
⑤ その他（                      ）



### 【転入後】

- ① 一人世帯  
② 夫婦のみ  
③ 二世帯同居（夫婦と子ども）  
④ 三世帯同居（夫婦と親と子ども）  
⑤ その他（                      ）

問4-1 同居している子どもがいる場合、次のどれにあてはまりますか。

（該当するものすべてに○印）

- ① 就学前（      人）      ② 小学生（      人）      ③ 中学生（      人）  
④ 高校生（      人）      ⑤ 大学・高専・専門学校生（      人）  
⑥ 社会人・アルバイト等（      人）      ⑦ その他（      ）（      人）

問5 転入前はどちらにお住まいでしたか。

都道府県名 [                      ]      市区町村名 [                      ]







# 名張市から転出された皆さまへ

## — アンケート調査ご協力のお願い —

皆さまには、日ごろより市政にご協力いただき、ありがとうございます。

名張市では、人口減少と高齢化が進展する中、人口の現状と課題を分析し、人口減少に歯止めをかけるため、また、いつまでも「住みよい」、「住み続けたいまち」であり続けるために、新たな政策に取り組むこととしており、各種の情報収集に努めているところです。

このアンケート調査は、名張市から転出された皆さまの動機等についてお聞きし、今後の市政運営に役立てるため、平成26年7月から27年6月の間に転出された世帯から、無作為に抽出した1,000人の皆さまにお送りしています。

なお、集計結果は統計的に処理し、公表させていただく予定ですが、**無記名方式**のため、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年9月 名張市長 亀井利克

### 【ご記入にあたってのお願い】

○問いには、ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。

○ご記入いただいた調査票は、9月24日(木)までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ご返送ください。

○ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

### 問合せ先

名張市 企画財政部 総合企画政策室

電話0595-65-7389

## 【転出者向けアンケート調査票】

問1 あなた（あて名ご本人）の性別をお答えください。（1つに○印）

- ① 男                      ② 女

問2 あなたの年齢をお答えください。（1つに○印）

- ① 20 歳未満      ② 20 歳代      ③ 30 歳代      ④ 40 歳代  
⑤ 50 歳代      ⑥ 60 歳代      ⑦ 70 歳以上

問3 あなたのご職業は、つぎのうちどれですか。（1つに○印）

- ① 自営業                      ② 会社員、団体職員、公務員      ③ 派遣社員、契約社員  
④ パート、アルバイト      ⑤ 専業主婦、専業主夫      ⑥ 学生  
⑦ 無職                      ⑧ その他（                      ）

問4 名張市に転出前と転出後の家族構成は、つぎのうちどれですか。

（転出前、転出後それぞれの1つに○印）

### 【転出前】

- ① 一人世帯  
② 夫婦のみ  
③ 二世帯同居（夫婦と子ども）  
④ 三世帯同居（夫婦と親と子ども）  
⑤ その他（                      ）



### 【転出後】

- ① 一人世帯  
② 夫婦のみ  
③ 二世帯同居（夫婦と子ども）  
④ 三世帯同居（夫婦と親と子ども）  
⑤ その他（                      ）

問4-1 同居している子どもがいる場合、次のどれにあてはまりますか。

（該当するものすべてに○印）

- ① 就学前（      人）      ② 小学生（      人）      ③ 中学生（      人）  
④ 高校生（      人）      ⑤ 大学・高専・専門学校生（      人）  
⑥ 社会人・アルバイト等（      人）      ⑦ その他（      ）（      人）

問5 現在、どちらにお住まいですか。

都道府県名 [                      ]      市区町村名 [                      ]







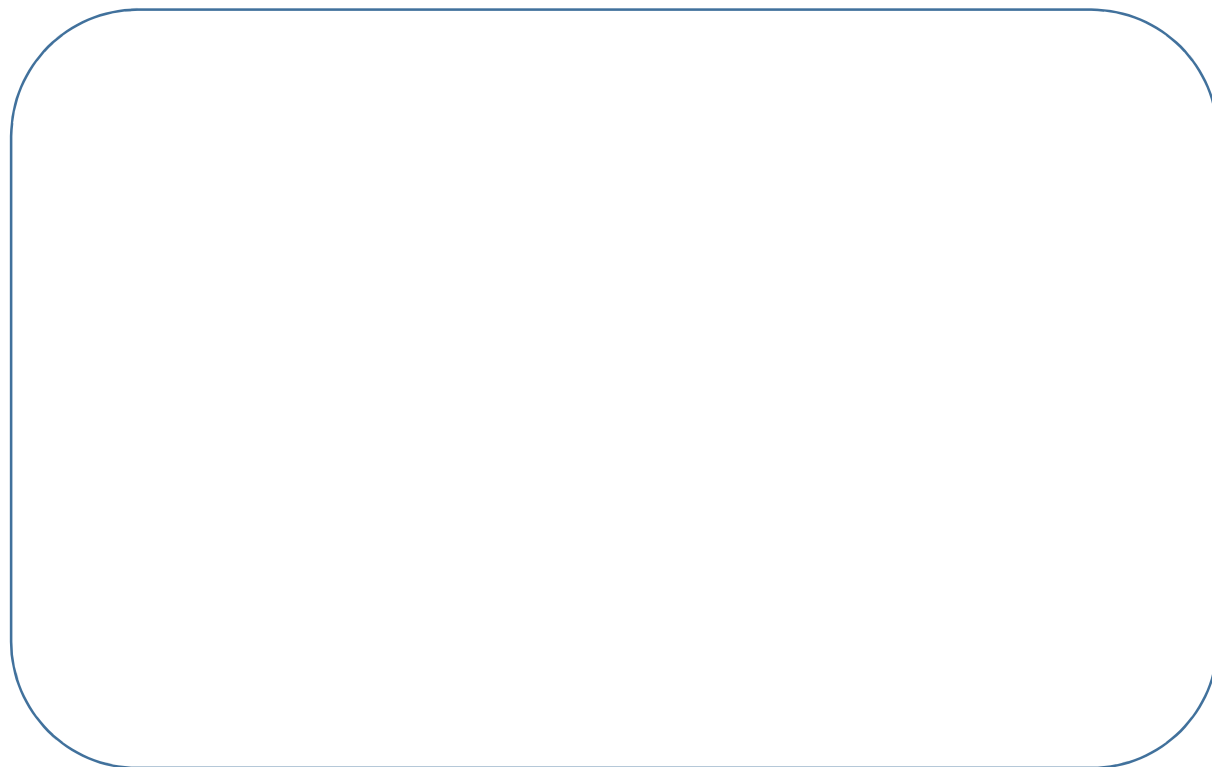
問13 もし機会があれば、名張市にもう一度住みたいと思われませんか。(1つに○印)

① 住みたい

② 住みたくない

③ わからない

問14 名張市の発展や市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。



以上でアンケートは終わりです。  
ご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート調査票は、同封の返信用封筒をご利用のうえ、  
9月24日(木)までにご返送いただきますようお願いいたします。